

第 6 次草津市総合計画策定

地域別懇談会 報告書

目 次

はじめに	1
「進めたいこと」のカテゴリ別集計	3
1 新堂中学校区	13
1 実施概要	13
2 議 事	13
2 草津中学校区	25
1 実施概要	25
2 議 事	25
3 松原中学校区	41
1 実施概要	41
2 議 事	41
4 老上中学校区	53
1 実施概要	53
2 議 事	53
5 玉川中学校区	65
1 実施概要	65
2 議 事	65
6 高穂中学校区	83
1 実施概要	83
2 議 事	83

はじめに

1. 目的

草津市では、現行計画の第5次草津市総合計画の計画期間が令和2年度で終了することから、令和3年度から令和14年度までの12年間を計画期間とした第6次草津市総合計画の策定に約2年間かけて取り組んでいます。

この地域別懇談会は、草津市の今後のまちづくりについて市民の皆様とともに話し合い、いただいたアイデアやご意見を第6次草津市総合計画の策定に生かすとともに、草津市の目指すべき将来像を市民の皆様と共有することを目的に実施しました。

2. 概要

日 時	令和元年7月7日(日)午前10時～
場 所	草津市立新堂中学校2階 特別活動室
参 加	新堂中学校区 ○笠縫東学区 ○常盤学区
日 時	令和元年7月16日(火)午後7時～
場 所	草津市役所8階 大会議室
参 加	草津中学校区 ○草津学区 ○大路区 ○渋川学区
日 時	令和元年7月27日(土)午前10時～
場 所	草津市立山田まちづくりセンター2階 集会室
参 加	松原中学校区 ○山田学区 ○笠縫学区

日 時	令和元年7月27日(土)午後2時～
場 所	草津市立老上小学校1階 多目的室
参 加	老上中学校区 ○老上学区 ○老上西学区
日 時	令和元年7月31日(水)午後7時～
場 所	草津市立玉川まちづくりセンター2階 大会議室
参 加	玉川中学校区 ○玉川学区 ○南笠東学区
日 時	令和元年8月3日(土)午前10時～
場 所	草津市立教育研究所 研修室
参 加	高穂中学校区 ○志津学区 ○志津南学区 ○矢倉学区

「進めたいこと」のカテゴリ別集計

各地域懇談会で出されたポストイットカードによる「進めたいこと」をカテゴリ別に集計して、全体のニーズの把握を行いました。

それによると一番多かったのが交通関係の対策です。

—交通関係 63件—

●公共交通の整備関係 (26件)

- ・交通環境の整理
- ・バス
- ・交通（バス）路線（まめバス）等
- ・公共交通（バス）の充実
- ・公共交通の充実
- ・各施設への移動手段
- ・生活に直結する医療～買物～駅の交通が不便である
- ・利用しやすいまめバスのルート本数を増やす
- ・まめバスより小型のバスを運行し、こまめな交通手段を増やす
- ・車が無くても住める町
- ・バスの増便、バス停の位置
- ・デマンドTAX or TAXチケットの導入
- ・デマンドタクシー 介護タクシーの導入
- ・バスルートの変更
- ・学区内を巡回するコミュニティバスの新設
- ・路線バスの増便（従来のルート）
- ・バス、道路、駅道路交通の基盤整備
- ・交通の便を良くし、周辺の地区の人口を増やす
- ・今の数字にはあられもないが、あるという安心感で人が増えていく
- ・大きい病院までの交通手段（バス）
- ・モノレールの整備
- ・市内モノレールの設置
- ・まめバスをやめてタクシーチケットを配る（高齢者・弱者）
- ・高齢者が移動しやすい
- ・高齢者が便利に利用できる交通手段（自家用車外）
- ・高齢者の移動手段の充実

●道路の整備関係 (11件)

- ・車の移動 道路整備
- ・周辺道路の整備

- ・住民のことを考えて道路づくりを早急によい方向にすすめる。
- ・信号機の設置
- ・山手幹線の1日も早い開通
- ・将来を見据えた道づくり
- ・東西を結ぶ道路の整備
- ・南草津駅より国道への道の立体交差
- ・狼川道路を広げよう
- ・広域的な道路整備を図る
- ・道路・歩道の整備

● 駅整備関係 (9件)

- ・駅西口広場の立体化
- ・駅前をバスターミナルにする
- ・駅前道路(幹線道路)の整備
- ・駅前道路はマイカーと交通(バス・タクシー)を分ける(乗り入れを分ける)東口(公共)西口マイカー
- ・駅中心として東西(JR)のつながり〈道路整備〉
- ・新駅(プリムタウン対策)
- ・新駅の設置
- ・西友中心としたバスターミナルの整備

● 渋滞対策関係 (5件)

- ・交通渋滞解消策の中に、道路幅自転車道をどうするか
- ・渋滞の解消
- ・南草津駅を中心に交通渋滞をどう解消すべきか
- ・抜本的な交通渋滞対策を進める
- ・渋滞解消は行政だけでなく警察との協力が必要

● その他 (12件)

- ・駅乗降客の誘導
- ・JRアンダーパスの幅を広げる
- ・交通の流れを考える
- ・子ども・高齢者にやさしい交通規制
- ・自転車に乗る人のマナーアップ
- ・西友の駐車場を多層階にする
- ・大学生の通学対策(駅⇄大学)
- ・浜街道に全線歩道整備
- ・歩道の拡幅(1号線の狼川から南草津方面(西側))
- ・歩道の植え込みの撤去
- ・バス停部の歩道が狭い
- ・交通環境の整備

次に多かったのは、コミュニティに関する対策で、コミュニティへの参加やまちづくり協議会に関する意見が多く出されています。

—コミュニティ関係 34件—

●コミュニティへの参加関係 (15件)

- ・まちづくりの市と地域の協働の推進
- ・高齢者と若者のコミュニケーション
- ・子どもの急増、新旧仲良く交流する
- ・若い世代の地域活動への参加
- ・住民のつながりイベント開催
- ・信頼が高まる取組、あいさつ、配食、声だし、安心感の充実
- ・新しい方に（マンション住民など）住民参加してもらう
- ・各地域においてのひとづくり
- ・まちづくりのための地区計画を進める（道路整備、拡幅含む）
- ・地域の一体感
- ・地域の運動会
- ・地域の交流が行き届いている
- ・地域の担い手の確保
- ・盆踊り大会
- ・問題点の取りまとめと調整

●まちづくり協議会関係 (10件)

- ・まちづくり協議会の持続性強化
- ・まちづくり協働を主としたまちづくりでまとめるのか
- ・まち協と町内会仲良くするか、また、別団体になるのか
- ・まち協プラットフォーム化
- ・行政と連携したまちづくりセンター（ひとづくりセンター）エリアの構築オンリーワンのセンター
- ・人が集まりにぎわうまちづくりセンター
- ・再度まちづくり協議会のルールづくりを！
- ・地域リーダーを育てる
- ・町内会の活性
- ・町内会組織の参加（強化）の支援策

●コミュニティの場づくり関係 (5件)

- ・(町内)憩いの場をもっと作る
- ・市民活動する（話し合い）をする場所がない
- ・お祭り
- ・コミュニティを活性化させる
- ・人が集まることのできる拠点をもう1つ作ってほしい

●つながりづくり関係 (4件)

- ・ひとり暮らしの人たちの見守り
- ・気軽に助けてほしいと言える人間関係
- ・共助の推進
- ・通学途上の児童の見守り活動（高齢者によるボランティア）

自然・住環境に関する意見も多く出されています。

—自然・住環境関係 18件—

●自然・住環境

- ・びわ湖の積極的活用
- ・環境の保全を進める
- ・びわ湖岸の公園の増設と再整備
- ・（駅周辺）緑化対策（景観）をもっと進める
- ・マザーレーク滋賀の中で草津から水と緑のまちづくりに更なる施策を打ち出すべき
（例）バイオを活かす
- ・ごみ集積場の整備
- ・プラスチックごみ問題
- ・火葬場 新設
- ・空き家をなくしていく
- ・空き家対策
- ・空き屋の雑草の処理
- ・空き家、廃屋をなくす
- ・空き家対策
- ・自然(緑)の維持管理 手間をかける
- ・川の汚染浄化、変なものを流さない
- ・通学路・市道・県道の道端の定期的な草刈り、管理
- ・道路・河川の維持のあり方草刈り整備迅速化
- ・豊かな自然の維持

安全・安心対策としての意見も多く出されています。

—安全・安心関係 17件—

●安全・安心対策

- ・学区・町内会での災害対策、訓練の実施
- ・災害に強いまちづくり 共助の強化
- ・治水、地震対策
- ・消防出張所を笠山の上の方に設置してほしい 10分以上→7分以内
- ・人口が増え都市化に向かう中で治安維持のための対策も考えなければならない
- ・地域パトロールの充実
- ・南草津駅周辺の公共施設の設置（防災広場）
- ・犯罪（どろぼうなど）があった時の共有
- ・避難所設備に関して
- ・防災訓練
- ・防災訓練の充実
- ・防災計画策定
- ・公園を増やす（避難所に活用できる）
- ・防災センターをつくる
- ・防犯・交通事故等に関する町内の情報の共有化 回覧による周知
- ・防犯カメラ
- ・防犯対策 カメラ設置など

さまざまな担い手対策に関する意見も多く出されています。

—担い手関係 13件—

●担い手対策

- ・まち協サポーターの登録
- ・子どもの見守り隊ボランティアの登録
- ・自治会サポーターの登録
- ・若者の参加
- ・担い手を増やす
- ・地域で育った子どもたちが地域に愛着を持てるようにする
- ・農業の担い手のシステムづくり
- ・若い世代の人たちの地域への引き込み
- ・世代間交流の促進
- ・担い手の世代交代
- ・担い役が不足
- ・地域に参加する人を増やす
- ・地域特性を生かした人づくり

都市計画・土地利用に関する意見も多く出されています。

—都市計画関係 12件—

●都市計画・土地利用

- ・マンションを作らせない
- ・スーパーとマンションの共存の構想
- ・ゾーンニングのまちづくり
- ・マンション等の建設ゾーンと個人住宅の建設ゾーンを分けてまちづくりを描く
- ・山田草津線沿いの市街化区域化により沿道サービス等の充実
- ・市が進める計画の適正対応 ・地域再生計画 ・立地適正化計画 ・地域公共交通網形成計画
- ・市街化調整区域の活性化
- ・実行可能な都市計画
- ・住まいとセット 商業ゾーン
- ・市街地調整区域における乱開発の見直し
- ・都市計画
- ・道路の拡幅 渋滞

子育て支援に関する意見も多く出されています。

—子育て支援関係 12件—

●子育て支援

- ・各学区にこども園設置
- ・学校教員の待遇改善
- ・学童保育の場所増やす
- ・子どもがたくさんいるときの遊び場（室内）
- ・子育て希望の（近くの）こども園に入りたい
- ・子育て支援、マンションの親子の行き場づくり
- ・子育て支援場づくり（マンションもっと身近な）場所と主催者
- ・子育て世代を地域イベントへの参画
- ・子どもの見守り
- ・市内での学力の均一化
- ・市内の子どもが無料で遊べるような児童館の早期実現をお願いします（浜大津の明日都のような）
- ・子育て 病児対策

公共施設整備に関する意見も多く出されています。

—公共施設関係 12件—

●公共施設整備

- ・南草津駅周辺の行政機関の充実
- ・南草津駅前の整備
- ・税の公平、配分・両駅があり、どちらにも同等施設の設置・公共施設数の維持
- ・グランドゴルフ場の整備
- ・クレアホールを県に返還
- ・まちづくりセンター利便性の向上
- ・音響のしっかりしたホール 市民が使える施設の建設
- ・音響設備・民間業者・飲食関連を含めてコンベンションホール化をすすめる
- ・学校、幼稚施設と高齢者施設との一体開発
- ・児童公園の充実
- ・新しい市民会館の整備
- ・団地内公園の廃止まとめて公園を大きく

高齢者への対策としても意見も多く出されています。

—高齢者関係 11件—

●高齢者対策

- ・高齢者が喜んでもらえる環境づくり
- ・高齢者サロン
- ・高齢者のイベントの充実
- ・高齢者の活動できる場所を増やす
- ・高齢者の憩いの場所をつくりたい
- ・高齢者系
- ・民生委員待遇改善（高齢者対策）
- ・老人の憩いの場
- ・老人福祉
- ・高齢者の見守り声かけ
- ・高齢者イベント（まつり）敬老会

文化・文化施設・スポーツに関する意見も出ています。

—文化・文化施設関係 9件—

●文化・文化施設・スポーツ

- ・遺跡と荻の育む玉川ならではの文化財保存施設を中心に保存に努める
- ・旧草津川の利用、公園だけでは不十分、近くの人だけが利用するのではなく、もっと広く

多くの人が利用できるように

- ・市民ホールを建てよう
- ・図書館 文化施設の充実
- ・地域の文化財を守る施設・文化財等の保管施設・博物館
- ・伝統文化施設をアピールして集客する
- ・文化事業推進ソフト
- ・スポーツ施設の充実、地元の人を使いやすく
- ・スポーツチームの誕生、草津をホームにした

行政サービスに関する意見も出ています。

—行政サービス関係 7件—

●行政サービス

- ・まちづくりセンター内に市民センター時の各登録を出す様に（元に戻す）
- ・一斉放送設備の機能向上
- ・行政の努力
- ・市職員資質の向上
- ・税の配分
- ・相談事業に学区へ出向いてもらう 税金申告相談
- ・投票した人の減税やポイントの付与

産業振興に関する意見も出ています。

—産業・観光関係 5件—

●産業・観光振興

- ・観光につながる農業・漁業
- ・自然環境の良さを活かしたレジャー施設、研修施設を作る
- ・宿場のまちを活かしたまちづくりとPR
- ・農業の振興策の充実
- ・琵琶湖を生かした観光開発

地域福祉に関する意見も出ています。

—地域福祉関係 4件—

●地域福祉

- ・子育て、高齢者等の手助け ボランティアの人材育成
- ・地域ボランティアの呼びかけ

- ・福祉の充実化
- ・福祉（介護）にも目を向けること

交流・文化に関する意見も出ています。

—交流・文化関係 3件—

●文化・交流

- ・大学生との交流
- ・学園都市
- ・立命大との連携強化 共催イベントなど

地域情報化に関する意見も出ています。

—地域情報関係 3件—

●地域情報化

- ・SNS 掲示板
- ・情報(紙)誌の発行（リーフかさぬい）
- ・知名度を上げるため 映画、TV(ドラマ)で取り上げてもらえるようにする（スポンサーも含め）

若い人が農村に住める環境整備に関する意見も出ています。

—農村環境整備関係 3件—

●農村環境整備

- ・若い家族が住みたくなる環境（保育、教育、商業、医療）
- ・若者が働きやすい農業（楽しい農業）お金の稼げる農業
- ・農村に若い人が住める環境整備

—教育関係 2件—

●教育

- ・小・中学校の長期的な設置方針を決める
- ・小学校区で学区割りが決められているが、その通りになっていない。行政がキチンと分けるべき

—生活基盤としての施設整備関係 2件—

●生活基盤施設

- ・近くに薬局がほしい（災害・ケガ時）
- ・農村地域にも生活基盤としての施設整備（商業施設、医療）

—産業・雇用 2件—

●産業・雇用

- ・働き場所を増やして人口も増やしたい
- ・農地の健全な保全を進める体制整備

—公共施設・土地 2件—

●公共施設・土地

- ・大型跡地（警察、保育園・幼稚園の跡）有効利用
- ・複合施設（ビル）

—商業施設の新設（緊急） 2件—

●商業施設

- ・スーパーの新設
- ・商業施設の設置

—その他 11件—

●その他

- ・健康づくり : 気軽に利用できる健康づくりの場を作る
- ・つながり : 人のつながり 100歳体操 健康増進
- ・広域 : 更に伸びる草津市をもっと広い視野で湖南4市を一丸に滋賀の顔として戦略を考えることが望まれる
- ・文化・交流 : 友好都市の連携を拡充
- ・医療 : 医療施設（公立）の充実
- ・下水道 : 下水道の整備
- ・雨水対策 : 下流雨水 幹線の整備
- ・自然を生かし地域のための公園整備 : 天井川の平地化を早く
- ・人口対策 : 志津の人口はこれからも増加の一途をたどる・子どもの世代・成年、働き世代・・・高齢者世代を分けて対策を考える
- ・生活 : 豊かさが実感できる今の暮らしを維持する
- ・出会い : 合コン

1 新堂中学校校区

1 実施概要

日 時	令和元年7月7日（日）午前10時～
場 所	草津市立新堂中学校2階 特別活動室
参 加	新堂中学校区 ○笠縫東学区 参加者：9名 ワークショップ：Aグループ、Bグループ ○常盤学区 参加者：8名 ワークショップ：Cグループ、Dグループ
次 第	(1) 開会 (2) 草津市の総合計画について (3) ワークショップ (4) 閉会

2 議 事

(1) 開 会

- 課長あいさつ

(2) 草津市の総合計画について

- 資料に基づき説明

【質疑応答】

質問 次期計画の策定についてふれられているが、結果がどうだったのか、現計画評価はされているのか。

回答 評価については、毎年、期中・期末の評価をしており、達成しているもの、していないものがある。評価しながらPDCAを進めている。

質問 計画策定の内容がわからないので、次を考えにくい。

回答 人口は市全体では増えているが、人口減少・高齢化が進む地域もある。また、アンケート調査をして、実態を探っているが、介護や病院等の心配もあり、これらの状況を踏まえて計画づくりを考えていく。

(3) ワークショップ

○草津市の特性と課題、これからの取組の方向をつくり上げていくために、「伸ばすところ」、「変えたいところ」、「進めたいこと」、「行政がやること」、「地域でできること」についてグループごとに話し合い、導き出していただきました。

①意見概要

グループ	概要
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに貼っていく場合、変えたいところが多く、住みたいまちとしてのランキングは高くても、まだ多くの課題があると感じた。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりがあり、ハード面の整備、防災、福祉・医療、行政サービスの向上等を進めたい。 ・防災の面では、地域の要支援者の把握、文化施設のハード・ソフト面の充実、高齢者の移動手段、路線バスの充実が必要。また、草津駅西口広場の交通渋滞の解消を特に言いたい。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に密着した課題、意見が主になった。 ・自然、歴史、人情などがよく、安全性が高い。地域の高齢化が進んでいて、交通の利便性がよくない。医療機関が少ない。従って、交通網の整備、広域的道路、ライフラインの整備が必要。 ・また、まちづくりセンターの利便性向上、商業施設の不便さの解消が必要。 ・行政は、広的なモノレールなどの交通基盤の整備、規制緩和を進めて、地域では、商業施設の誘致、琵琶湖周辺の自然環境の保持、伝統文化の継承・保存に努める。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、自然環境が豊か。都市部は便利、生活実感として豊かにし、都市部と農村部のバランスのとれた環境確保が重要。文化財が豊か。 ・変えたいところは、昔からの風習があって、若い人が住みにくい。交通網の地域間格差がある。 ・まちづくりセンターの利便性向上も必要。 ・また、担い手不足もある。 ・自然環境を残しながら、地域性を活かした産業を守る。生活基盤施設の整備、特に、商業施設が不足している。 ・歩いて生活できる基盤整備を進めないといけない。 ・農振地域で家が建てられないため、若者が住めない。若い人が住める環境の整備が必要。 ・高齢者の移動手段の確保、伝統文化を残していくことが大切。

②参加者感想

- 改めて地域の課題が見えてきて有意義だった。
- まだまだ知らないことが多いと感じた。
- 良くなっていくことに協力できる事があればと思う。
- 地域別の長所、短所の話し合いの場をもてて良かった。
- もう少し事前にワークショップの仕方の内容を教えてほしかった。
- 初めて経験したため戸惑いでしたが、随分勉強になった。
- 有意義であったが、具体性に欠ける発表が多かった。
- 楽しかった。
- 一回だけでは馴染めないで、機会があればまた参加したい。
- 皆さんと一緒にまちづくりのことを話できたことが良かった。
- 和気あいあいの楽しい時間だった。
- 思いはいっぱい書き足りなかった。
- 今後の進展に期待する!!
- 参考になった。
- 今日の意見を幅広く総合計画に取り入れていただき、行政の取り組みと実施完成をお願いしたい。
- 今日の成果が総計に生かされるよう、お願いしたい。
- 若い人が夢を持ち、高齢者は心豊かに過ごせる町にしたい。
- 以前の審議に出ていた話とあまり変わらなくて、5年経っても変化なしという感じ。
- 行政と地域活動のつながりがより一層深まることを願う。

③まとめ

- 伸ばすところとして、駅前と郊外に大きなショッピングセンター、スーパーやコンビニ、病院等の施設の充実と自然環境の良さ、安全・安心なところを挙げられています。それに加え、常盤学区では、歴史文化財、伝統行事に関して挙げられています。
- 変えたいところとして、道路・交通インフラの問題。渋滞、道路幅の狭さによる危険、歩道の少なさ、公共交通機関（タクシー・バス）の少なさ、交通の便の悪さが挙げられています。他には、防災、福祉・医療、まちづくり、行政サービスのあり方に対して挙がっています。それに加え、常盤学区では、地域の格差が挙げられています。
- 進めたいことは、交通網の整備。子ども・高齢者・弱者に便利でやさしい交通手段や交通規制、渋滞の解消が挙げられています。他には、ひとづくり・まちづくり、自然環境、歴史文化の保持が挙げられています。それに加え、常盤地区では、若い家族が住みたくなる環境、生活基盤としての施設（商業・医療・保育・教育）の整備の必要性が挙げられています。
- 行政がやることは、予算の確保・有効利用。交通基盤整備、施設の充実、災害対策等、ハード面に関してが挙げられています。それに加え、常盤地区では、規制緩和（開発規制緩

和)・農地を生かした行政施策の推進が挙げられています。

○地域でできることは、市民参画と意識啓発、環境保全や歴史・伝統文化の継承・保持、居場所作り、町内の人的交流の活性化が挙げられています。

伸ばすところ

安心安全

小学校下校時のパトロール

まちの行事での世代間交流がある

生活の安心・安全、自助・共助の生活向上

日常施設充実

スーパーやコンビニ、病院など近くに山あり住みやすい

駅前と郊外に大きなショッピングセンターがある

病院が多い

便

単に住むだけで考えると便利(交通、環境 etc) (ペットタウン)

薬山川が近くにあり、ウォーキングなど散歩ができる場所がある

環境が良いホテル

変えたいところ

道路交通

いつも渋滞の場所が決まっている

朝の渋滞がすごい

路線のバスが少くない!

道路が狭く緊急車両が入れず、命の危険にさらされている地域が多い

J R草津駅の東西口の朝夕の車の渋滞

公共交通が少ない!

道路バスが充実(高齢者の方)

道路サイドの植栽が少ない

夜道が怖い所がある

狭い道が多い

東西道路の充実

道路インフラ整備

待機児童減少、防災道路の拡充

コミュニティ

町内会活動が大変だ! 役員を選ぶのが大変

若い人たちが出て帰ってこない

地域に暮らす若い人の力が入りづくり、まちづくり

男性のひとり暮らしが多い

まちづくり協議会で地域差がある

まちづくり

子ども110番の廃止仕組みを変える

市民の声を活かす行政運営

シャッター店が多い

草津を全国にアピールできるまちなにする

進めたいこと

交通

高齢者の移動手段の充実

周辺道路の整備

渋滞の解消

環境

環境の保全を進める

コミュニティ

各区域においてのひとづくり・まちづくりのたのめ地区計画を進める(道路整備、拡幅含む)

再度まちづくり協議会のルールづくりを!

地域の担手の確保

共助の推進

行政がやること

交通

渋滞の解消施策

まめバスの拡充!

高齢者の移動手段の充実

予算の有効利用

地域でできること

市民がまちづくりに関心を持つ

市民参画

ボランティアでまちの美化を維持する

そこら辺にゴミを捨てるな

環境保全

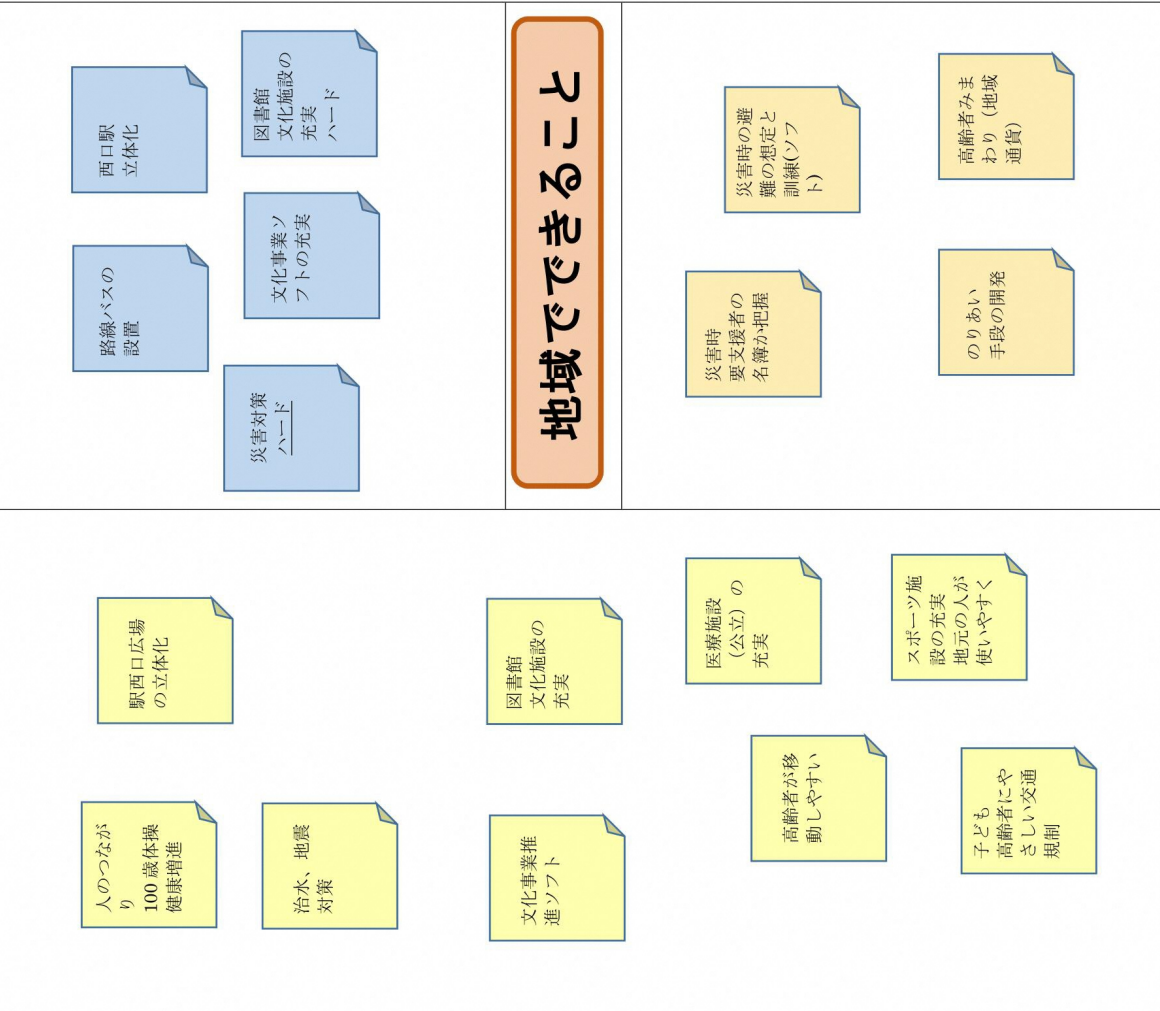
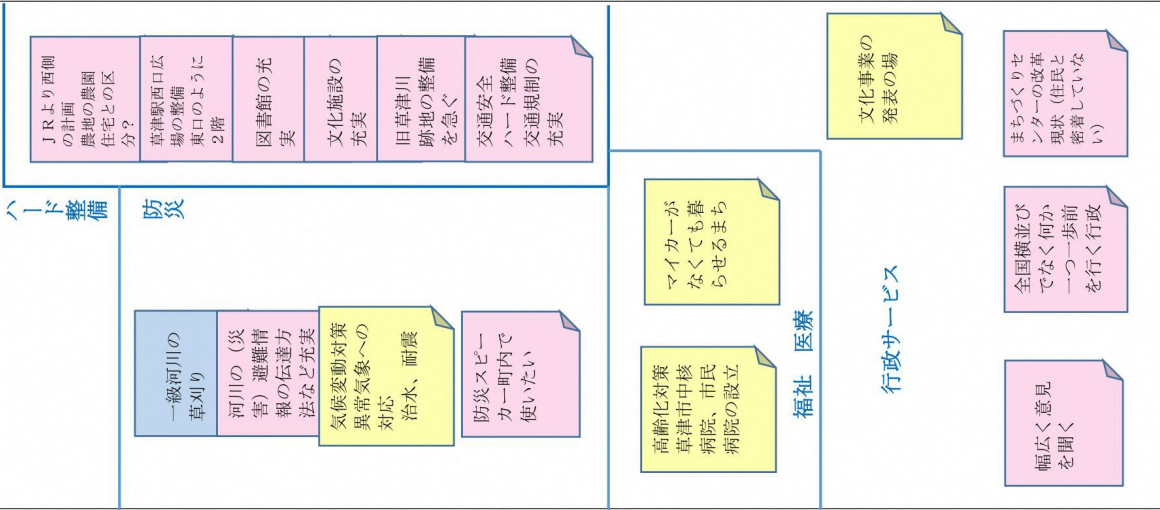
伸ばすところ

変えたいところ

進めたいこと

行政がやること

地域でできること



伸ばすところ

自然確保

- 自然が多い
- 田園風景
- 琵琶湖の景観・水産物

- 歴史文化財が多い
- 歴史文化継承
- 歴史遺産
- 伝統行事まつり等
- 歴史遺産
- 歴史文化が多数存在し、今後も整備保存確保をはかる

- 安全安心のまちづくり
- 災害が少なく親親潮が存在し、住みよいまちをいつまでも保存していく
- 治安・安全である

- 子供と高齢者
- 高齢者対策の実
- 子育て支援の充実

- 町内での近所づきあいが濃い
- 人との交流が多い
- 人が優しい
- 人情
- 住民のコミュニティ

変えたいところ

- 交通網の拡大
市内巡回バス
目的別
(例) 病院行
- 交通の便が悪い
- 歩道の整備がない
- 道路と歩道が区別されていない
- 道路法滞解消
- 町内の道路幅が狭い
- 買物の為の交通施設が無い

地域的 交通整備

ライフライン

- 学区内の移動手段の充実 (例) 学区内のみのロータリーバス (各町をまわる) (例) 乗り合いバス
- 高齢化に伴うライフラインの整備を要する
- 大津市、栗東市、守山市は隣接しておりさらに都市化が進むので広域的な整合した整備を要する
公共施設
- まちづくりセンター機能の拡大
草のようセンターへの復活 (例) 住民票発行 etc)
- 公共施設
利便性

- 商店が少ない
- 商店の確保 (生活必需品の確保)
- スーパー、医院の増設
- 規制撤廃
高齢化増で若い人が少ない (農振地区の撤廃)
- 自然環境
琵琶湖の健全な保存を考えた水質保全
- 近くに病院等がない
医療機関が少ない

進めたいこと

- 学区内を巡回するコミュニティバスの新設
- バスルートの変更
- 市内モノレールの設置
- 道路バスの増便 (従来のルート)
- デマンドTAX or TAXチケットの導入
- デマンドタクシーの導入
- 交通網の整備

- 広域的な道路整備を図る
- 道路・歩道の整備

- まちづくりセンター利便性の向上
- 商業施設の新設 (緊急)
- 商業施設の設置
- スーパーの新設

- 規制緩和と自然環境、歴史文化保持
- 農業の振興策の充実
- 相談事業に学区へ出向いてもらう
税金申告相談
- 一斉放送設備の機能向上

行政がやること

- ★交通基盤整備
- ★広域道路整備
- ★まちづくりセンターの行政サービス復活
- ★規制緩和 (開発規制緩和)
- ★安全・安心まちづくり

地域でできること

- 商業施設の誘致
- 自然環境の保持
- 歴史、伝統文化の継承保持

伸ばすところ

自然が豊か

- 自然が豊かなので、ずいぶん活用している
- 豊かな自然
- 空気がきれい、汚染されていないので、工場などは誘致してほしくない

都市と農村のバランス

- 豊かな自然環境を活かした上で、活性化
- 便利な都市近郊の機能と自然環境に恵まれた周辺地域のバランスのとれた生活環境

文化財が豊か

- 豊富な文化財史跡をより多くの人にふれて頂きたい
- 市全体として、店が増えた、便利になった

変えたいところ

地域の格差

- 昔からの風習が改善されない
- 地域格差が大きすぎる、交通手段・商業施設
- 若者が多い学区と高齢者が多い学区が極端である

交通網の整備

- 車があれば便利だが、公共交通機関が不便な所がある

農村に若い人の居住できる環境

- 若者が居つく環境が十分
- 人口が減少しているゾーンの活性化が進まない
- 豊かな自然を守り育てる人材不足

人材不足

- まちの構造である三つのゾーンの交流が少ない

進めたいこと

自然環境の良さを活かしたレジャー施設、研修施設を作る

観光につながる農業・漁業

豊かさを感じ、できる暮らしを維持する

生活基盤としての施設整備

農村地域にも生活基盤としての施設整備（商業施設、医療）

若い家族が住みたくない環境（保育、教育、商業、医療）

農村に若い人が住める環境整備

若者が働きやすい農業（楽しい農業）お金の稼げる農業

高齢者が使いやすい交通手段（高齢者・弱者）

高齢者が便利に利用できる交通手段（自家用車外）

高齢者・弱者に便利な交通手段

主要バスをやめて、タクシーを配る（高齢者・弱者）

地域の文化財を守る施設、文化財等の保管施設、博物館

伝統文化施設をアピールして集客する

若い人が農村に住める環境

高齢者・弱者に便利な交通手段

行政がやること

- 農村に住宅地を確保すること（農地利用）
- 農林水産への後継者育成に係るシステム作り、補助制度の充実
- 環境保全のための予算確保
- 農地を活かした行政施策

地域でできること

意識啓発

- 地域内での共存、共栄の意識を啓発
- 希薄化しつつある町内の人的交流の活性化

居場所作り

- 地域の施設を自由に利用して交流を深める

2 草津中学校区

1 実施概要

日 時	令和元年7月16日(火)午後7時～
場 所	草津市役所8階 大会議室
参 加	草津中学校区 ○草津学区 参加者：6名 ワークショップ：Aグループ、Bグループ ○大路区 参加者：11名 ワークショップ：Cグループ、Dグループ ○渋川学区 参加者：9名 ワークショップ：Eグループ、Fグループ
次 第	(1) 開会 (2) 草津市の総合計画について (3) ワークショップ (4) 閉会

2 議 事

(1) 開 会

- 課長あいさつ

(2) 草津市の総合計画について

- 資料に基づき説明

【質疑応答】

質問、御意見等はありませんでした。

(3) ワークショップ

- 草津市の特性と課題、これからの取組の方向をつくり上げていくために、「伸ばすところ」、「変えたいところ」、「進めたいこと」、「行政がやること」、「地域でできること」についてグループごとに話し合い、導き出していただきました。

①意見概要

グループ	概要
A + B	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、歴史と伝統そして自然が伸ばしていかねばいけ ない所でもある。新しい体育館ができたこともあり、スポーツを伸ばして いくという意見もありました。 ・変えたいところは、こちらの方が、積極的に意見が出ました。 交通事情が非常に悪い。降雨時タクシーが捕まらない。まめバスの本数も 少ないため、免許を返納すると困ってしまう。不便を感じる。古いところ はそのまま、新しいところは、マンション乱立で交通事情悪化、都市計 画を考えていないのではないか。道路事情を整備してから、人を増やすこ とを考えては。 ・進めたいことは、防災。自助・共助・公助。公助が全くあてにならないの で、自助・共助でどれだけ皆さんが協力できるか。新しい防災センター を、東草津は公共の施設が一つもない。道路の拡幅、マンションはこれ以 上造らない。老人と子どもが住みやすい環境を作っていただきたい
C	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、草津は立地が良いので人口も増え、商売も発展してい る。現状の人口構成の良いバランスを維持していくこと。また、宿場町で あるという歴史的なものも維持して伸ばしていくこと。 ・変えたいところは、道路関係が計画的にされていないことも有り、渋滞が 多く、危険。 ・コミュニティの場所、緑が少ない。計画的な都市計画が必要。 ・進めたいことは、本当に実行可能な都市計画を作る必要がある。そのため に行政では、予算の確保、長期ビジョンを持ってほしい。人と人との触れ 合いというコミュニティの場所のほかに、SNSを活用した場を作る。地 域としては、コンテンツ、どのような内容を書き込むかを皆でやる。
D	<p>※Cグループと同区のためにほぼ同じ内容となっているため違う部分のみの 発表。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、友好都市が多いが、知られていないので伸ばしたらどう か。防犯、力を入れてパトロールを行っているのを伸ばしていく。 ・変えたいところは、見栄えが悪いのでごみ集積場について、もう少し整理 されていると景観も良くなるのではないか。 ・名産品がわからない。ほかの人に聞くと無いとの回答がある。 ・進めたいことは、今どきのマンションは、親子が住んでいても居場所がな い。特に未就学児の親子の場合は、孤独である。市役所の別館等に出かけ られない方もいるので、それに対応できるのが地域ではないか。(地域でで きること) ・行政の手が届かないところを地域でやる。

<p>E</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東行政区域から草津に編入されたエリアで、高度成長前に 100 世帯 700 人が今は 3,900～4,000 世帯で 9,000 人くらいになっており 9 割が他所から入ってきた人間です。 ・伸ばすところは、交通の便が良い。災害が少ない。 ・変えたいところは、道路関係。道が狭い、公園が少ない、遊び場所が少ない等。 ・ほかのグループと比較すると、地域の問題が多かったのではないかと思います。 ・進めたいことは、ひとづくりの問題について多くの意見が出ました。世代間の交流が少ない、親と子の繋がり、地域に参加する人が少ないので増やすようにしていきたい。 ・高齢者への、見守り・声掛けを進めていきたい。 ・行政がやることは、高齢化、昭和 40 年代にまちに入ってきた方の高齢化による疲弊、まちづくり協議会の問題。まち協の進め方・やり方そのものについて抜本的に見直していただきたい。 ・地域でできることは、町内会の再編成をしてはどうか。現在の 15 町内を減らせないか高齢者が多くなりすぎて町内会自体の運営ができなくなっている。 ・ほかのグループに比べハード面の内容が少なかった様に思われます。
<p>F</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、まちづくり。南草津駅周辺をどのように伸ばしていくのか。歴史文化についてもしっかりしたものがあるので、いかに上手くアピールしていくか。 幸いにも人口は、維持されている。その中でも若い人の率（高齢者の率も同じであるが）、その人口の構成をいかに上手く維持していけるかが大きな課題になると考えている。 ・変えたいところは、大きく 3 つ。①道路行政。②まちづくり、東西に分断されている。大きな屋敷にポツンと一人で住んでいる人もいること。③医療関係、中核となる病院が少ない。 ・進めたいことは、まちづくりの考え方。こういう風なまちを創っていきましょう、こういう風なところにこういうゾーンを置きましょう。住まいのゾーン、商業地のゾーンそれを分けるという考え方もあるが、共存していく、人が生活と仕事を一緒にまわしていける様なまちになっていくと良いのではないか。 ・行政がやることは、3 点。①草津駅の周りの道路およびその整備。②まちづくり、今日説明いただきました総合計画は、素晴らしく言葉は練られています。指摘するところはないが、言葉が躍りすぎている。何かわからないので、どういう風にしたいかがもう一段判るように練っていただきたい。時に厳しい言葉があっても良い。これからはこういうフレームでやっていこうというガイドがないとなかなか難しいのではないかと考え

	<p>ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神社周辺等防災マップにもある様に浸水被害等についても行政にお願いしたい。 ・ 地域でできることは、維持したいが止まらない高齢化、現実問題としての老人医療等、全て病院に頼るのではなく、私たちができる事をこれから考えていかないと回っていかないのは明らかなので、社会福祉協議会という組織も整備されているので、私たちもどういう形でサポートできるのかと考えていきたい。 ・ 空き家の管理についても、地域でできることを、これから考えなければならないと思っております。
--	--

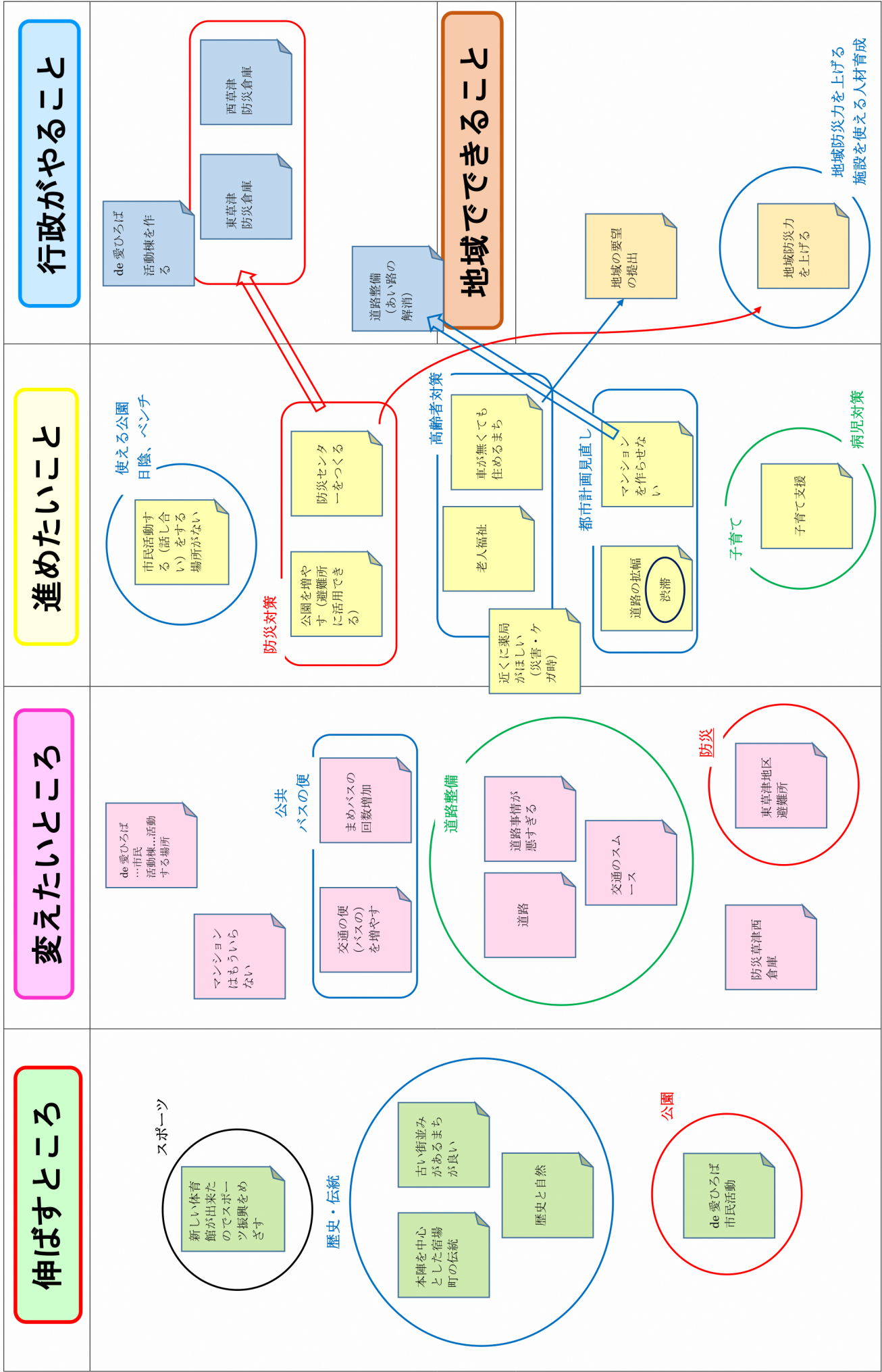
②参加者感想

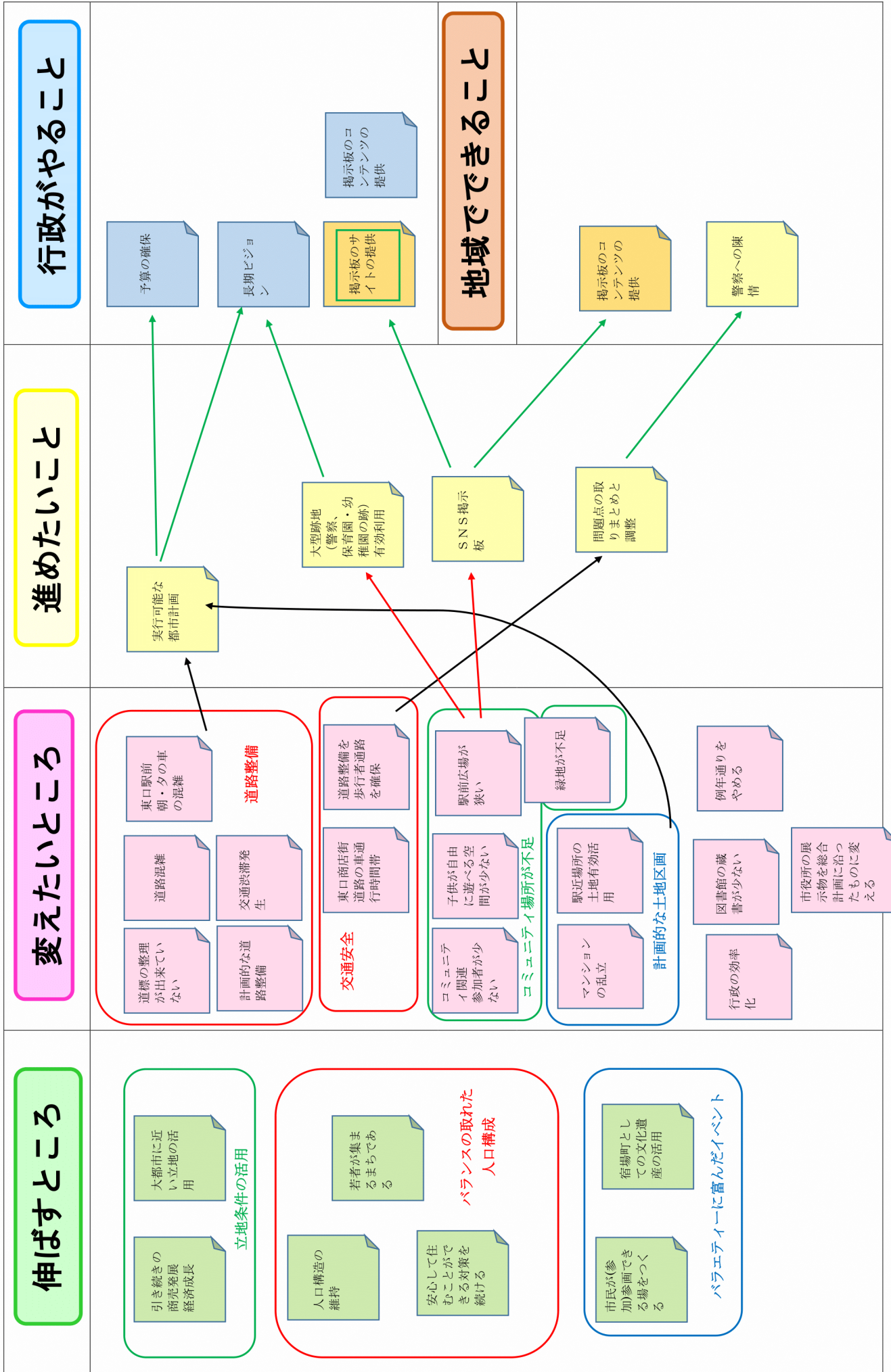
- 一人でも多くの人の声を聞いてほしい。大人から子どもまで。
- 我が学区のことだけでなく、他学区の事情も聞けて大変良いワークショップだった。
- 要望の叶う草津にしてほしい。
- 今後さらに計画的なまちづくりが必要なことを痛感した。
- 多くお願いしたが、実際に実行されることが望ましい。
- いろいろな意見が出たが、計画を立てる時は実行性のある計画をたててほしい。
- 感想ではないが、小学校教育の中でふるさと愛につながる取組をぜひお願いしたい。
- 思わず熱くなる程、楽しく考えることができた。面白い取組。
- 行政も参加をしてもらっては。
- まちづくりの難しさが、この機会に再確認できた。良かった！
- 地域のことを考える時間になった。いろいろな問題があり。
- 住民参加の政治過程であり、是非とも実りある市政に生かしてほしい。
- 事前にテーマを与えていただき良かった。即の考えはまとまらない。策定計画は今ひとつわかりにくい。
- 今日参加したメンバーを市の委員などにお入れになると、かなり活発な委員会となるように実感した。
- 大変良いワークショップだった。今後のまちづくりにも活かして頂きたいと共に地域での参考にさせて頂きたいと思う。
- 時間が短すぎる。前もって内容を知らしてもらえれば、もっと問題把握できたと思う。
- 個々ではまちづくり計画について幅がせまいが、大人数で話し合えば大変良い意見が出る。
- 時間が長い割に議論に深まりがなかった。範囲が広すぎた。
- まちづくりについて協議できたことが良かった。
- いいサジェスションをいただいて、うまくまとめて頂いた。こちらは言いたいことを言っただけだった。ありがとうございました。
- 議論をする時間がもう少しほしかった。
- 時間が足りなかった。

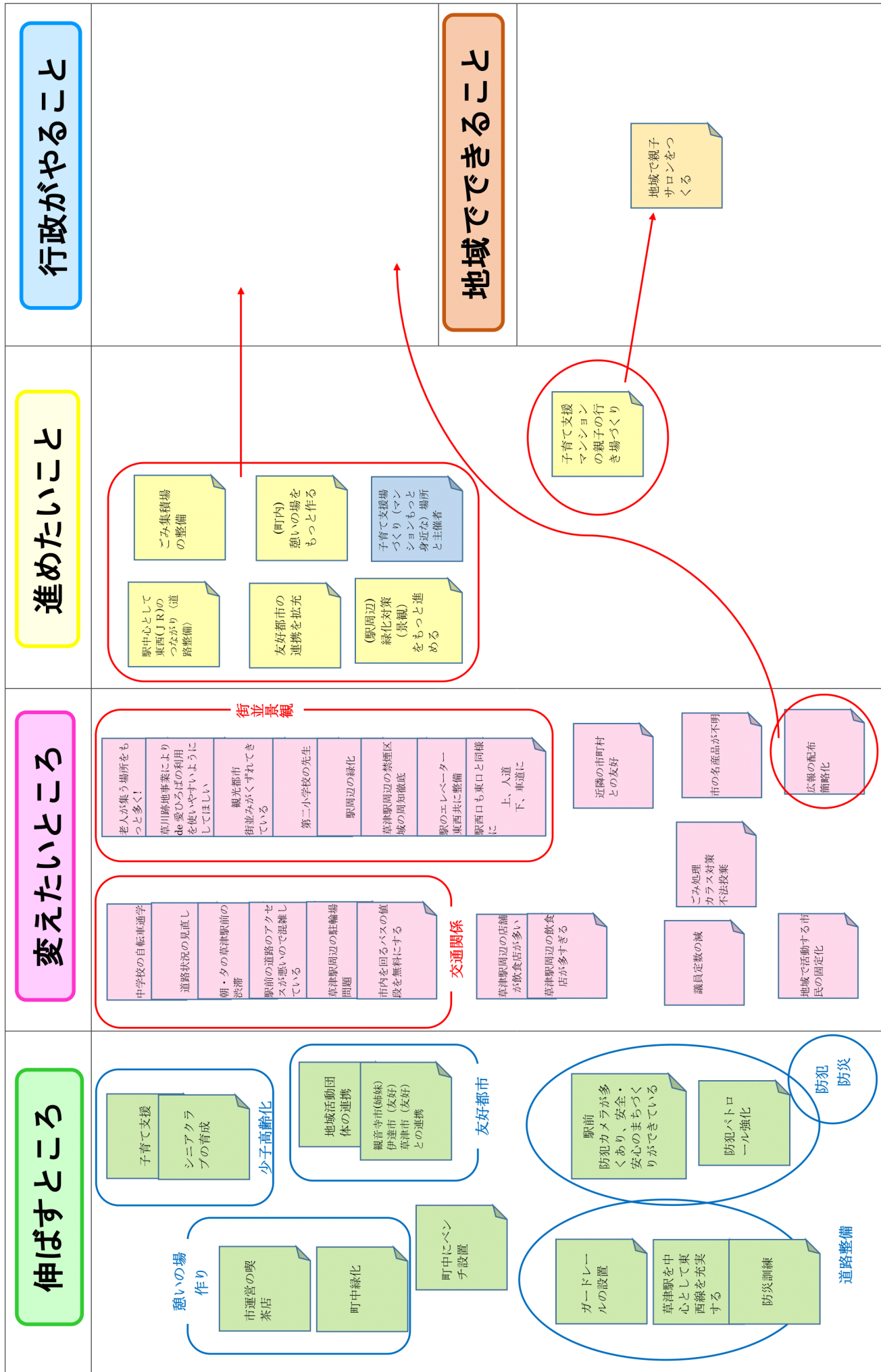
- 勉強になった。
- 総合計画の理解が深まった。
- 実現可能かどうかよりも、みんなで話し合えるということが良かった。

③まとめ

- 伸ばすところとして、人口増があり活気があるので、今の人口構成が変わらないようにし、立地特性を生かした、経済発展の継続をするとともに、歴史・伝統と自然の活用が挙げられています。また、防犯・防災の面で、安全・安心のまちづくりができていますので、それを継続することが挙げられています。
- 変えたいところとして、道路整備・交通安全として、道路事情について挙げられ、街並景観、コミュニティの場所の不足と参加者が少ないことなどが挙げられています。他に、大路区、渋川地区では、草津駅周辺の渋滞や、駅及びその整備について、マンションの乱立とそこの住民との交流について挙げられています。
- 進めたいことは、都市計画の見直し。道路・公園・防災センターや、大型施設の跡地の有効利用についても挙がっています。他には、老人福祉、子育て支援、防災対策、SNS掲示板などが挙がっています。
- 行政がやることは、予算の確保、将来を見据えたまちづくり、長期ビジョンづくりが挙がっています。
- 地域でできることは、地域の要望の提出、警察への陳情等地域の意見をまとめること。地域防災力を上げるための、施設を使える人材を育成などが挙がっています。







<h3>伸ばすところ</h3> <ul style="list-style-type: none"> 交通至便 交通の便が良い 生活が便利で近くでも済ませる 	<h3>変えたいところ</h3> <ul style="list-style-type: none"> 町の中心部の道路整備が不十分 駅前商店街の道が狭い(一方通行も多い) 水路のコンクリートのひび割れが懸念(草が良く茂る) 市街地の道路の整備(車歩道の区分) 高成長時代の政策が負の遺産となっている 災害が少なかつたため市民の防災への意識が薄い 便利すぎて不満を感じにくい 	<h3>進めたいこと</h3> <ul style="list-style-type: none"> 人づくり <ul style="list-style-type: none"> 若い世代の人たちへの地域への引き込み 世代間交流の促進 高齢化 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の見守り声かけ 	<h3>行政がやること</h3> <ul style="list-style-type: none"> まち協 <ul style="list-style-type: none"> まち協が未端の地域共同体を衰退させている まち協のあり方を見直し 空家 <ul style="list-style-type: none"> 空家対策
<h3>地域</h3> <ul style="list-style-type: none"> 地域内で閉鎖性が少なく、転入者等への差別意識、排他性が少ない 人口が増加し続けており、活気がある 子どもの行事を通じて交流が持てる 風水害が全くない良い地域である → 油断大敵ではあるが 歴史ある「中山道」「東海道」が通っている。両者の分岐点である 	<h3>地域づくり</h3> <ul style="list-style-type: none"> 「買物便利」「交通至便」とかの長所の有難みに気づかず、行政等の不満をぶちまける人がいる 最近人が多すぎてもう少し静かな街であってほしい 個人情報が噂 マンション住人と戸建住民との会話、親交を深めたい 転入等による新世代が多く、世帯間引き継ぎ等が出ていない マンション・アパートと住人は増えるが、古くからの住人は高齢化、子供が同居しない 地域の担い手になりたがらない 地域の担い手が固定化 都市の中に限界集落がある 一人建て 対 集合住宅 <ul style="list-style-type: none"> 子どもが成長すると行事への参加が減る 	<h3>環境整備</h3> <ul style="list-style-type: none"> 有名な「街道」の有効な資源活用!! (中山道、東海道) 街路樹が整備されず見苦しい(草刈りもされない) 子どもが遊べる公園が少ない(面積が少ない) 	<h3>地域のできること</h3> <ul style="list-style-type: none"> 町内会の再編成

伸ばすところ

歴史文化

街道にまつわる歴史と文化の発掘と保存

まちづくり

JR草津駅と南草津駅の間を住宅等でつなげる

変えたいところ

道路交通

車がないと移動できないところが多い
道路が狭い
一方通行が多いので、それをうまく利用したい
道路特に安全性を高めたい
ポンヤリと安定感がない
草津駅西口側はスーパーなどの関係で特定の曜日に渋滞が発生する

まちづくり

西側東側の格差が生じる
市を分断する様なJR線路が走っており、西側と東側の開発のズレが起きている。
草津市車庫で持続不可
中心市街地上地流動性少ない
草津市民になったら住民は町内会に加入する

中核

医療病院

病院が近くに少ない

進めたいこと

空家、廃屋をなくす

スポーツチームの誕生
草津をホームにした

理念思想

働き場所を増やして人口も増やしたい

フレームづくり

将来を見据えた道づくり

マンション等の建設ゾーンと個人住宅を分けて街づくりを描く
ゾーニングのまちづくり
スーパーとマンションの共存の構想
住まいとセゾット
商業ゾーン

車の移動道路整備

行政がやること

草津駅付近の歩道改善

草津西口立体化

地域と大学が連携
まちづくり大学

言葉睡れど
理念ない

河川管理の徹底
(上流からのゴミの量が非常に多い)

伊佐々川の改修
防災

将来を見据えたまちづくり

防災対策

地域でできること

現在認知症は6-7人に1人という割合で増えつつある。学区で行っている「健康」をテーマに諸々の病気の予防を目標に取り組みを行いたい。

魅力ある人の育成を地域で

空家管理運用

地域医療
地域包括ケア

子育て世代支援

まち協と社協との連携

自助・共助・公助

3 松原中学校区

1 実施概要

日 時	令和元年7月27日(土)午前10時～
場 所	草津市立山田まちづくりセンター2階 集会室
参 加	松原中学校区 ○山田学区 参加者：6名 ワークショップ：Aグループ ○笠縫学区 参加者：13名 ワークショップ：Bグループ、Cグループ
次 第	(1) 開会 (2) 草津市の総合計画について (3) ワークショップ (4) 閉会

2 議 事

(1) 開 会

○課長あいさつ

(2) 草津市の総合計画について

○資料に基づき説明

【質疑応答】

質問 現計画の総括評価は、いつ頃出てくるのか。

回答 現在庁内で、総括評価を実施中です。あと1ヵ月位で総括評価が公表できると考えています。

質問 「健幸都市」、「de愛」、「ai彩」、施設の名前は、どこで決めているのか。調和していないような気がします。

回答 名称については、いろいろな手法で決めています。例えば、公募であるとか、「YMITアリーナ」は、ネーミングライツという手法で決めている。

質問 夢のあるような表現で計画されていて、市全体の進むべき方向を示しているのはわかるが、市街地（活気あるところ）にまだ手を加え、成果の上がるところの計画になっており、逆に山田学区等では目に見えた成果が表れていない。課題は出るがどうするか計画が出ていない。実感として感じられない。

回答 市街地の賑わいと、人口減少地域があるのは事実です。総合計画は総花的なものになりがちであるが、課題については認識しておりこのような地域別の懇談会を初めて開催しているので御意見を賜りたく、よろしく願います。

(3) ワークショップ

○草津市の特性と課題、これからの取組の方向をつくり上げていくために、「伸ばすところ」、「変えたいところ」、「進めたいこと」、「行政がやること」、「地域でできること」についてグループごとに話し合い、導き出していただきました。

①意見概要

グループ	概要
A	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、人口増。どこまで人口を伸ばしたいのかを明確にしてほしい。人と人の付き合い、まちづくりが良い。センター。自然環境、農地を中心に緑が豊かであるので、これを健全な状態で保全し今後も田園風景を残してほしい。自営業の開業応援を含め、農業や野菜産地として、地域の資源をより振興して伸ばしていきたい。 ・変えたいところは、土地利用規制、基盤の関係。浜街道は、計画道路でないので歩道が十分に整備されていない。まちづくりの計画で話をしても、行政からは、計画がないのでできないといわれる。特に浜街道の整備をしてほしい。市街化調整区域・市街化区域・農用地区域を抜本的に見直し変えていっていただきたい。町内会の全戸加入、事業予算の交付・活動費用が欲しい。まちづくりセンターの有り方・建て替え等。 ・進めたいことは、都市計画の抜本的見直しをして、線引きの関係や色塗り、都市計画道路も含め見直しを進めてほしい。農地の健全な保全を進める体制をより進めてほしい。まちづくりセンターの建て替え、より良いものになる様に進めたい。その他には、子育ての関係、こども園の設置などが意見として出ています。 ・行政のやることは、企画部門と事業部門との市の連携が特に我々のところでは、望まれています。 ・地域でできることは、新まちづくりセンターの規模や機能、場所を含めた検討をし、人が集まるまちづくりを考える。市全体の事もあるが、議論としては、地域中心のものとなりました。

<p style="text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、1番に人口の増加。全国でもトップになったくらい人口が増えている。地域自治活動として、消防訓練、まちづくりセンター中心に活動している、登下校時の見守り隊、挨拶運動などが良いところなので伸ばしていきたい。 ・変えたいところは、まめバスを充実させる。災害が少ないので危機感が少ない。自治会長の負担が大きい。草津駅前の駐輪場少ない、ロータリーが狭い。下笠道が狭く危ない。渋滞を減らしてほしい。車がないと交通が不便。青年団の結成をしてほしい。世代交流が少ない。などが挙がっています。 ・進めたいことは、防犯対策カメラの設置をしてほしい。空き家対策。琵琶湖の積極的活用を進めてもらいたい。大きい病院までの交通手段を充実させてほしい。笠縫学区は、直通バスが無いのでやってほしい。子育ての項目として、市内での学力の均一化が上がっている。草津市は全国から見てどの位置なのか。 ・行政のやることは、免許制度の改正。市の交通機関（まめバス等）の運行を市内全域に広げれば、各地域に人が分散していくのではないか。公的な塾、コミュニケーションなどを学べる塾があっても良いのではないか。合コンの開催により、市を愛してもらい、少子化対策含めて青年団の結成から公的な合コンの開催をしてほしい。 ・地域でできることは、挨拶運動、地域のコミュニケーションをとる。知っている人が増えると犯罪は減る。地域で知り合いを増やす・挨拶をすることが良いのではないか。
<p style="text-align: center;">C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、変えたいところと表裏一体である。子どもは、両方につながっており「子どもの増加」「子どもとかかわりたいが、そういう機会がない」変えたいところと伸ばしたいところのテーマである。ほかのテーマとして、環境があります。大きなテーマとしては、コミュニティからつながる担い手、その担い手不足がテーマとなっている。地域での町内会の担い手、まち協や大きな団体になっても担い手が不足している。 行政については、多くの意見があったが、空き家問題や、大きく言うと交通に関する事が多い。道路の幅・歩道の整備などです。 ・進めたいことは、担い手というテーマの中で、農業関係の担い手もない。地域で育った子ども達が地域に愛着を持てるようにしていきたい。その中でその子たちが担い手になってほしい。若者の参加不足がある中、地域の中でコミュニティを活性化させていくことで、担い手が生まれていくのではないか。 ・行政のやる事が空白なのは、多すぎて書けないということで、何もないということではありません。 ・地域でできることは、個人情報の開示が厳しく、身動きが取れない、そこで町内会単位で個人情報を集めシステムを作り、それを横のつながりで共

	有する。その後それを学区（まち協）に持っていき、そしてそれを地域のまちづくりにしていけばよいのではないか。
--	---

②参加者感想

- 意見をまとめるには良いワークショップだが、深化させるには物足りない。
- 楽しい時間だった。どうしても自分の地域中心の考えになってしまった。
- 良い内容で大変良かった。
- 考えをまとめるのに良い機会であった。
- 学区単位での懇談会開催も希望する。
- 様々な意見が聞けて良かった。
- 普段は考えないことを話せる機会があり、良かった。
- いろいろな世代の人の意見や、学区の発表も聞けて良かった。
- インフラ整備を進めてほしいと思う。（実績数値ではなく）
- グループ分けすることによって具体的にどうすれば良いか改善点が出たのでよかった。
- 様々なよい所を改めて知り、愛着をもった。今後もより発展を望む。
- 若い人たちと意見の交換ができた。
- 本日のワークショップで出た提案は、必ず行政に反映してほしい。
- 人が変わるといろいろな意見が出ることがわかった。若い世代の人の意見も必要。
- 自己で思い浮かばないことが多く出て、又、勉強できたし、驚いた。
- 世代によって考えていることが違ったりして、面白かった。
- 総合計画とはスケールが大きく感じたが、取り組むととても身近なものであると感じた。
- 参加させて頂き、地域に目を向けたいと思った。
- いろいろな意見が出て、大変良かったと思う。
- 良くなっていくことに協力できることがあればと思う。

③まとめ

- 伸ばすところとして、人口が増加していること。中でも子どもが多く活気があることが挙げられています。その中で山田地区では、市としては、人口何人を目指しているのかということが挙げられていました。また、コミュニティとして、子育て施策の充実や、地域の活動、交流などの良いところを伸ばすことが挙がっていました。他には、自然環境、緑が豊かさ、野菜などの名産品を活かすことが挙がっていました。
- 変えたいところとして、道路の整備の問題が挙がっています。山田地区では、浜街道。笠縫地区では、下笠道が挙げられていました。他には、まちづくりセンターのあり方、自治会長の負担が大きいことが挙がっていました。それに加え、笠縫学区では、担い手の問題が挙げられていました。また、山田学区では、都市計画の大胆な見直し（特に市街化調整区域内）が挙げられていました。

- 行政がやることは、企画と事業の連携、まちづくり協働課の再構築や、右折信号の設置、小型バスの運行、公的な塾をつくったり、合コンの開催が挙がっていました。
- 地域でできることは、SNSの活用や、行事の実施とその周知、町内会での個人情報を収集して、共有することなどが挙がっていました。

伸ばすところ

コミュニティ

人口増

- 人口何人をめざすの明確か？
- 人口増
- 自営業の開業応援
- 農業・漁業の連携強化
- 野菜産地としてより発展を
- 小学校区単位(14)でのコミュニティの推進
- 人と人とのつながりが強い
- 子育て施策の充実(こども園化)
- まちづくり市協働課の活動内容
- 老人の知恵

自然環境

- 水田や畑地の緑豊かな環境を健全に保全する
- 田園風景

地域

- 自治会(町内)の自衛活動
- 近所づきあい
- 地域のつながり(共助)
- 地域の多様な資源の発掘活用

変えたいところ

浜街道

- 浜街道の拡幅
- 幹線道路整備
- 浜街道幹線道路の整備
- 都市計画道路でない浜街道の整備
- 都市計画道路も含めて

町内会

- 町内会への全戸加入
- 町内会への事業予算の交付
- 町内の相互つきあい

土地利用規制

- 都市計画の大胆な見直し(特に調整区域内)
- 市街化区域や農地・農用地の将来あり方を踏まえ、抜本的見直し
- 若い人は希望してもこの地域で家が建てられないので、これを可能にしたい
- 旧津川の活用(未整備区間の見直しも含めて)
- 都市部を中心とした発展
- 企業、大学等と連携し、学区内の若者定住化(空き屋を活用した定住)

まちづくり組織

- まちづくりセンターのあり方
- 地域のまちづくり行政のまちづくり
- 行政の(部・課)再構成
- 商業施設も含めたまちづくりセンターの建設
- 市(行政)の担当課の見直し
- 子育て支援
- 農産物の流通

進めたいこと

- 都市計画の抜本的見直し(線引き、区域区分、都市計画道路)
- 山田町海線沿いの市街化区域化により沿道サービス等の充実
- 浜街道に全線歩道整備
- 浜街道全線に歩道設置
- 公共交通(バス)の充実
- 農地の健全な保全を進める体制整備
- 人が集まりにぎわい、まちづくりセンター
- 行政と連携したまちづくりセンター(ひとづくりセンター)エリアの構築、オンラインワンのセンター
- 住民のつながりイベント開催
- 町内会組織の参加(強化)の支援策
- まちづくりの市と地域の協働の推進
- 子育て希望の(近くの)こども園に入りたい
- 各学区にこども園設置

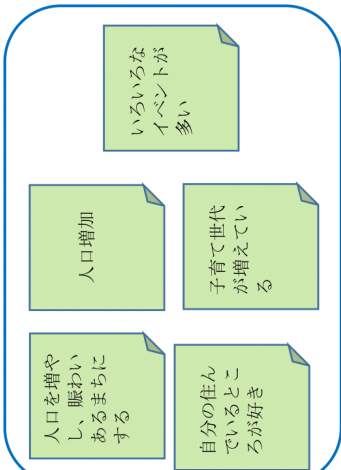
行政がやること

- まちづくり協働課の再構築
- 近街道に歩道設置
- 公共交通の整備
- 地域のまちづくり計画の積極的支援
- 新センター建築にかかわる費用
- 企画部門と事業部門の連携強化

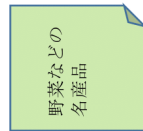
地域でできること

- 新まちづくりセンター規模、機能、建築場所
- 人が集まるまちづくり
- 子育て支援

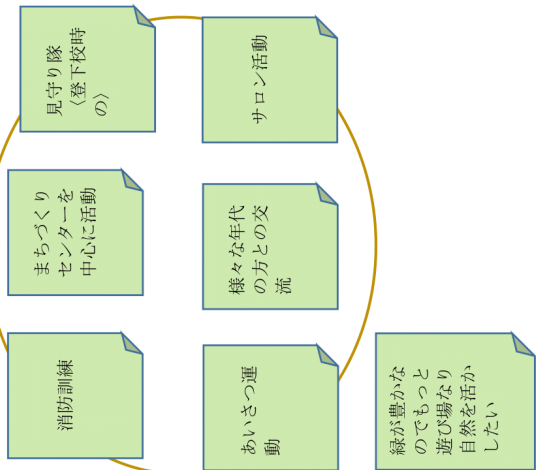
伸ばすところ



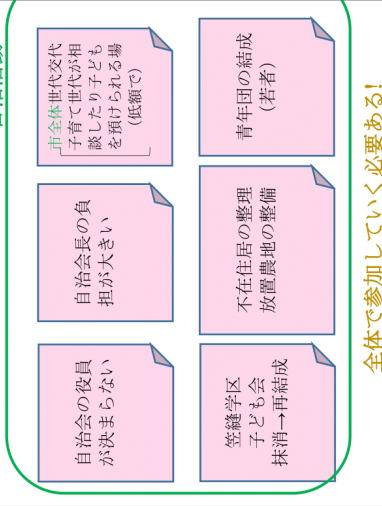
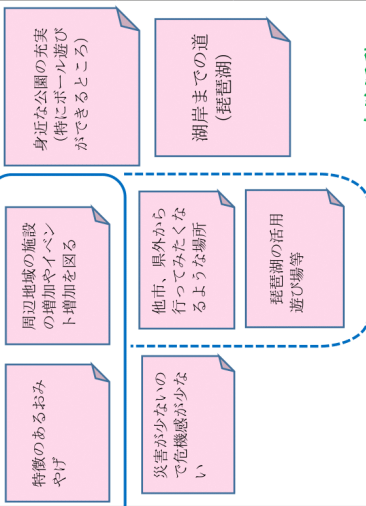
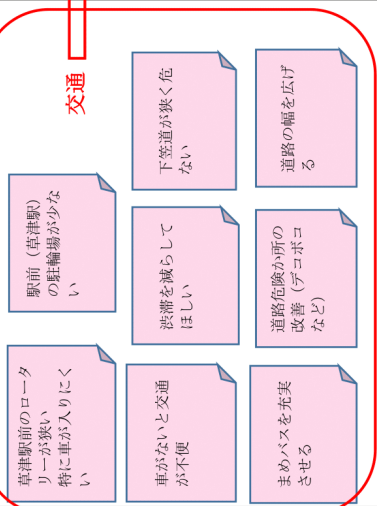
人口が増加



地域自治活動

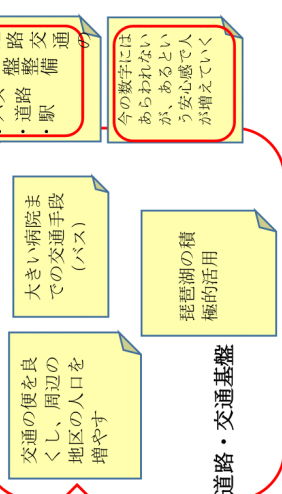


変えたいところ

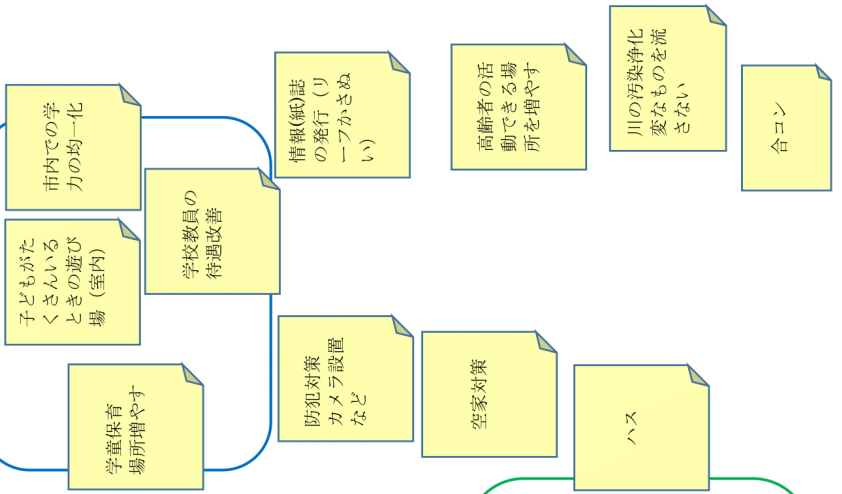


全体で参加していく必要がある!

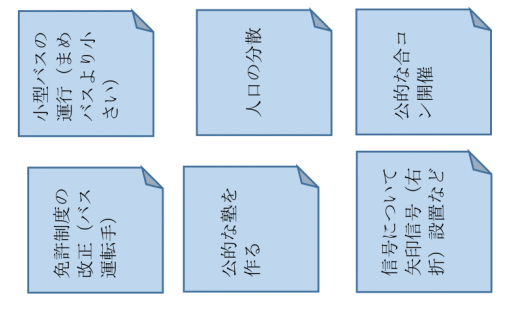
進めたいこと



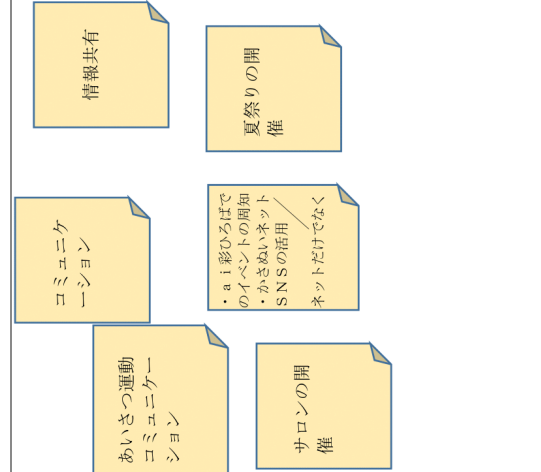
子育て



行政がやること



地域でできること



伸ばすところ

環境

- 湖岸の自然環境
- 自然環境
- のどかな田園風景
- 景色が良い

コミュニティ

- 近所づきあい
- 隣近所のお付き合い
- 住み心地が良い

高齢者の楽しみ

- 地域サロンを充実させる参加者増へ
- 高齢者の楽しみ
- 高齢者の集いの場づくりを増やす

変えたいところ

行政

- 防災意識の向上
- 都市計画に対する（道路）高齢者、障害者を考えて
- 道路幅（低木）を無くす
- 道路幅の確保
- 市の広報誌が読みにくい

子ども

- 子供とかわりたいたいが、そういう機会がない
- 子供が少ない
- 子供の増加（人口増加）
- 子供が多く活気がある

担い手

- 自治体の中でサポーターを作る（高齢化等でサポーター役出ない人が増えている）
- 行政（地域）サポーターの育成
- 担い手が少ない
- 町内会等役員人事（担い手）
- 農業の担い手を増やす
- 市民にまち協の存在価値を知ってもらう
- 魅力あるイベントを企画・実施する

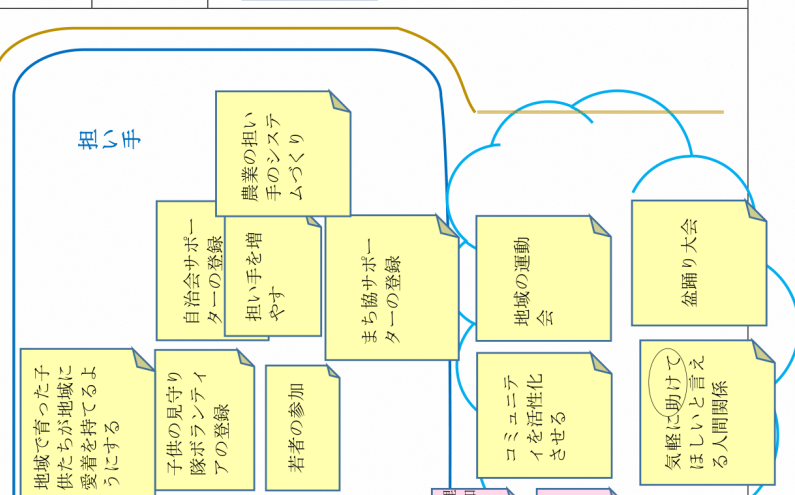
福祉

- マルファクの対象年齢の底上げ

進めたいこと

- 交通手段
- 生活に直結する路線＝買物～駅間の交通が不便である
- 交通環境の整理
- 空屋の雑草の処理
- 市街化調整区域の活性化
- 交通（バス）路線（まめバス）等
- 都市計画
- 防災計画策定
- 防災訓練

担い手



行政がやること

地域のできること

- 町内会での個人情報収集
- 町内会で担い手づくり
- 高齢者の見守り
- 町内会のつながり → 学区へ（まち協）

4 老上中学校校区

1 実施概要

日 時	令和元年7月27日(土)午後2時～
場 所	草津市立老上小学校1階 多目的室
参 加	老上中学校区 ○老上学区 参加者：10名 ワークショップ：Aグループ、Bグループ ○老上西学区 参加者：6名 ワークショップ：Cグループ
次 第	(1) 開会 (2) 草津市の総合計画について (3) ワークショップ (4) 閉会

2 議 事

(1) 開 会

- 課長あいさつ

(2) 草津市の総合計画について

- 資料に基づき説明

【質疑応答】

質問 都市計画マスタープランとの兼ね合いをどのように考えておられるのか。

今まで工業地域で予定していたものが急に住宅地になったり、工業地区の中に農振の場所がある。

回答 総合計画が最上位計画ですので、総合計画に基づいて、都市計画マスタープランが策定されることとなります。都市計画マスタープランは、土地利用など都市計画の分野で策定されるものになりますので、総合計画との関係性がよく表れているのは、基本構想のP.25を見ていただくとまちの構造があります。これは市を大きく3つの区分に分けてこれからの土地利用を表したものになります。こうした大きなまちの構造を示した中で、都市計画マスタープランが策定されます。現行の都市計画マスタープランは、総合計画と同様に、令和2年度

で計画期間が終了します。第6次総合計画を作るにあたり、まちの構造を大きく示し、そのあとに地域の方々の御意見をお聞きした上で、さらに細かな土地利用を示す都市計画マスタープランが策定されます。

(3) ワークショップ

○草津市の特性と課題、これからの取組の方向をつくり上げていくために、「伸ばすところ」、「変えたいところ」、「進めたいこと」、「行政がやること」、「地域でできること」についてグループごとに話し合い、導き出していただきました。

①意見概要

グループ	概要
A	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、交流として、充実したまちづくり居場所づくり、交流を広げていきたい。地域間の交流が少ない。マンションとの交流が少なくなっている。高齢者の集まる所が少ない。発展として、工場誘致が少ない、文化、学芸都市としての発展が少ない。南草津西口を活気のある街にせよ、夜は特に寂しい。大学生が夏休みになると寂しい街になっている。買い物時の西友くらい。夜女性一人では歩けない状況にある。 ・変えたいところは、道路整備・インフラ整備が少ない、公園・緑化の面に力を入れて、公園を整備していきたい。一級河川に砂の堆積が見られるので、その浚渫を行う。これは防災の役に立つのではないか。まちへの行事への参加が年々減っているのではないか。家を建てずに、もっと多目的ホール的な物を造ったらどうか。JRへのおねがいになるが、南草津駅のホームを広くしてほしい。駅前広場を広くしてほしい。朝の混雑。南草津駅は、滋賀県でトップの乗降客（6万人）である。2位が草津駅（5万8千人）。立命館大学の学生がいるから活気がある。移動手段がない。まめバスも含め福祉に対して少し冷たいのではないか。きめ細やかなまめバスの運行をお願いしたい。 ・進めたいことは、南草津駅前の整備。南草津駅周辺が計画の中に、賑わいのあるまちとなっているが、行政機関が一切ない、行政施設が一切ないのが南草津駅の西側地区です。プリムに1千戸立つがその中にも行政機関が一切ない。ホールであるとか地域の交流の場がもっと行政の方で推進してほしい。伸ばすところで地域の交流ということが出ていたが、どのように交流を深めたら良いか、高齢者も含めて、イベント（まつり）、敬老会、ふれあいまつりそういったものが交流を深めるために必要ではないか。しかし、そこに行くための移動手段がない。そのために何が必要かとなるとまめバスの充実、小型バスの充実が高齢者に対して必要。 ・行政のやることは、ハコものホールを造るとかを行政の方でやっていただ

	<p>きたい。新しい住民が増えている中で、昔から住まわれている方から新しい人を受け入れにくい体制が旧の町内会であるのではないか。その辺を、市の方から町内会の加入であるとかを指導していただきたい。地域色が強すぎるからなかなか入っていけない面もある。市から町内会に入ってくださいとか、このようにしたらどうですかとか、旧町内会に対してこういう風に指導してあげてくださいとかいう意見を、行政の方からやっていただくことがあるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でできることは、つながりを持てるボランティア活動、いわゆるまつりの主導権を持っていくことによって、つながりができて、交流が深まっていくのではないか。深まりをするがためのイベントを開くために、行政として何らかの支援金を頂けないか。そしてそれが大きなイベントにつながっていくのではないか。行政と地域がタイアップし、地域の意見を飲んでいただいて草津市行政がやっていただく、そして車の二輪のように進めていくのが、地域と行政のやることではないか。
<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マクロ論議で時間を費やしてしまい、細かい部分が話されていない状況でした。 ・地域でできることは、今のところ何もなかったのですが、それはその入り口まで達していないということです。地域に個性があり、入って共有すべき部分もあれば、そうでない部分もあり、一体化できていない。将来的には横のつながりがあれば良いのではないか。 ・行政のやることは、歩道橋の整備 通学路の信号の時間が短い、子どもたちが横断するのにもう少し時間を伸ばしてほしい。歩道橋のあるところでは、使用されていないことがある。再整備等も必要ではないか。南草津駅周辺ということで、にぎわい拠点として、草津駅周辺、南草津駅周辺が2台拠点として挙げられているが、今は住宅優先で賑わいの拠点とは言い難いので並行して進めていただきたい。避難所設備に関しては、実際に場所の指定はされているが避難した際に対応ができるのかが疑問である。地域ができて30年、40年になってきており、上下水道管等の老朽化があり、建て替え等されたところから部分的に更新されている。下水道管、水道管の計画的整備をお願いしたい。 ・変えたいところは、交通事情・道路整備関係、住宅開発がより進む中で、工事するだけでも渋滞が発生している。現実的に、全てが完成した段階でこのままで良いのか、その計画が耳に入ってこない。一部の話はあるが、それが果たして全体的な解決になるかという論議は、されていないのではないか。明確化、先行した改善をお願いしたい。コミュニティ施設の増設・新設として、人の増加に伴う諸々の施設が不足、住んで要望が出てするのではなく先行して整備をお願いしたい。市・学区での交流も大事だが、地域の小さい交流の持ち方、見直しも必要ということで、当然地域にも歴史があり、やり方があるため、入り込めない部分もあれば、参考にで

	<p>きるものできないものもある。まち協が作るのか、地域の代表がやるのか、市・行政の指導のもと、イベント等の計画の中で浸透を図るのか、話し合いの場・意見交換的な場も必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、買い物しやすい、便利ということですが、これからのことを考えるともう少し一体化した建物もできると良い。人が増えることによる公園等施設の充実。イベント時の渋滞があるので他変転用も絡み合わせその対応も考えていただきたい。一級河川に見合う整備が必要。今の大雨に対する対応が不安である。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、観光開発として、湖岸の散歩道。群馬県の草津との違いをアピールしている（市長が）もっと広報活動を知名度アップ。草津駅にて近辺の史跡ボランティア土日ありますが平日も増やしては。「あおばな」だけではなくインパクトのある特産品を作っていくと良いと思う。環境保全として、琵琶湖を主とした環境保全と市民の共生。交通網の整備。教育として、教育機関（立命大等）との連携強化。教育関係のOA化。学校教育で国を大切にする教育。人権として、人権を大切にする取組。高齢者・子ども・福祉として、災害要支援者の実態調査の充実。子育てサロンが充実してきた（若い世代の参加が増えてきた）。まちづくりとして、地域を代表する団体における地域自治が挙がっています。 ・変えたいところは、道路網の整備として、幹線道路を整備する。交通（特にバス路線）。JRをくぐる道幅。浜街道の道幅を大きく歩道が必要。平面の道だけではダメで立体交差を取り入れる。右折ラインを作る。交差点 矢橋中央 矢橋北。公共交通の利便性。まめバスを老西にも復活させる。計画的な開発として、乱開発を止める。秩序ある開発。計画的な宅地開発。小規模な事業主が継続できる取組。（びわ湖岸）浜辺のレジャー利用。他県の方が集まる仕組みづくり。学区の区割りをきちんとしてほしい。旧住人と新住人との交流コミュニティの充実。まちづくり支援として、まち協の行事が多い。まちづくりセンターに市の業務の一部を出張してほしい（住民票、証明書、確定申告…）。子育て支援として、児童館が不足している。安心して子育てが出来る制度構築。防災として、雨水の川の整備が挙がっていました。「そろそろ市長も交代してほしい」は、市・行政の代表・象徴としての意味で、変化を希望することであるとの発言でした。（追記） ・進めたいことは、市内の子どもが無料で遊べるような児童館の早期実現をお願いします（浜大津明日都のような）。高齢者の憩いの場所を作りたい。小学校区で学区割りが決められているが、その通りになっていない、行政がキチンと分けるべき。東西を結ぶ道路の整備。南草津駅より国道への道の立体交差。JRアンダーパスの幅を広げる。まめバスより小型のバスを運行し、こまめな交通手段を増す。下流雨水 幹線の整備。旧草津川の利用は公園だけでは不十分。近くの人だけが利用するのではなく、もっと広く多くの人利用できるように。知名を上げるために映画、TV(ドラマ)

で取り上げてもらえるようにする（スポンサーも含め）。琵琶湖を活かした観光開発。豊かな自然の維持。琵琶湖岸の公園の増設と再整備。立命館大学との連携強化、共催イベントなど。市街化調整区域における乱開発の見直し。まちづくり協議会の持続性強化。災害に強いまちづくり、共助の強化、子育て、高齢者等の手助け、ボランティアの人材育成。

- ・行政のやることは、浜街道を広げ歩道を作る。都市計画道路の早期整備。昼間の浜街道バス路線民間バスに経済的援助をしてでも増やしてほしい。特に、市役所行き、草津駅行き。タクシー会社、バス会社とタイアップし、小型のバスの運行。域内の交通と通過交通を区分する交通網の整備。市職員の削減と税の効果的支出。子育てに対する経済的支援。開発後の住宅地に町内会やまち協への加入について業者を含めて強く打ち出してほしい。まち協センターで地域と言って進め、地域のことは地域でと推し進めているが、その分の軽くなった業務は何に変わるのか目に見える形で示してほしい。まちづくり協議会が管理できる施設の増加（スポーツ施設、観光施設）
- ・地域でできることは、子どもの安全教育。まちづくり協議会の体制（組織）強化、法人化等。コミュニティを運営する人材の育成。町、会館、集会所まちづくりセンターを利用し、高齢者、子育て中のお母さんが気軽に集えるような場所づくりをする。市役所業務の中で地域に出来る業務はまち協やセンターに移す（昔の支所のようなもの…）。ボランティアの育成 “ふるさと老上”を自覚することにより、次世代が住みやすい町を作る。人々のふれあう場所を作る。次世代リーダー育成。コミュニティビジネスをのばす。

②参加者感想

- 地域の発展に関し、行政のかかわり方を再考する機会となった。
- 今日の意見をぜひ実現してほしい。勉強になった。
- 居住歴が少ないため意見を出しにくく、少し苦勞した。
- すべての時において絵に描いた餅で終わらないように進めていただきたい。すべては市企画調整課に責任があるので、よろしく願いしたい。
- 何かと難しい。
- 前にやっていたことがあるが、これからもいかしてほしい。
- 計画の参考には是非なってもらいたい。
- 普段考えてもいないことに着目させていただいた。もう少し勉強してから参加できたら良かった。
- 計画策定に役立つか否かは別にして、こういう機会は良い。ただ問題が大きすぎるかも。
- 地域のことを見つめ直す良い時間を持つことができた。
- このような形で多くの市民の意見や要望を取り入れていただきたい。
- テーマが広すぎて的がぼやけた様なディスカッションの場になった。
- 大変難しい問題だったが、草津市を考える良い機会になった。
- 理想は出るが、どこまで生かされるか。道の整備をよろしく計画してほしい。
- ワークショップをする課題として、ある程度議題を示しておいた方がより意見が出るように思えた。

③まとめ

- 伸ばすところとして、買い物するのに便利であること、子育てサロンが充実してきた（若い世代の参加が増えてきた）ことが挙げられています。また、公園施設が充実していることも挙げられています。
- 変えたいところとして、住宅開発に見合った、交通手段、道路網の整備が挙げられています。他に、コミュニティの希薄さがあり、コミュニティ施設の増設・新設が挙げられています。その中で、老上西学区では、学区の区割りをきちんとしてほしいということも挙がっていました。
- 進めたいことは、まちづくりのためのハード面の整備として、道路・交通手段・施設が挙がっていました。加えて、老上学区では、まちづくりセンター内に市民センター時の各登録を出すように（元に戻す）ということが挙がっており、老上西学区では、琵琶湖を活かした知名度アップが挙がっていました。
- 行政がやることは、ハコものハードと、助成金の支援。交通インフラと上下水道間の老朽化対策が挙がっています。まちづくり協議会が管理できる施設の増加（スポーツ施設、観光施設）も老上西学区からは、挙がっています。
- 地域でできることは、コミュニティを運営する人材、次世代リーダーの育成。高齢者、子育て中のお母さんが気軽に集えるような場所を作ること等が挙がっています。

伸ばすところ

- 充実したまちづくり
- マンションとの交流を深める
- 居場所づくり 人との交流場を深める
- 地域間の交流
- 高齢者の集まる所が少ない

交流

まめバスに変わり 学区内の細かい コミュニティバ

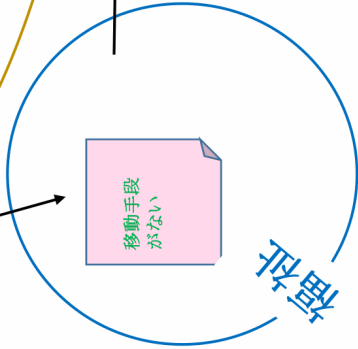
- 工場誘致の促進
- 文化、学芸 都市としての発展
- 草津西口を活 気のあるまち (特に 夜間)

発展

変えたいところ

- 早急なインフラ整備
- 道路整備の改善
- 緑化、公園 造成の促進、整備
- 草津川の砂が多くなっている
- まちの行事への参加者が年々減る
- 家を建てずともホールのつくる
- 琵琶湖線が万が一の時邪魔にならないか (通れない処多い)
- JR南草津ホーム広くせよ

交通(手段)



進めたいこと

- 南草津駅周辺の行政機能の充実
- 南草津駅周辺の公共施設の設置 (防災広場)
- 南草津駅前 の整備
- 市民ホール を建てよう
- 地域の交流 が行き届い ている
- 狼川道路を 広げよう
- まちづくりセンター 内に市民センター時 の各登録を出す様に (元に戻す)
- イベント (まつり) 敬者会

ハードづくり まちづくり

行政がやること

- ハコものハード
- 助成金の支援
- 地域色が強すぎない
- 他からの受け入れの仕組み
- 何百mmの豪雨の際、大草津川、大戸川水嵩が気になる

地域でできること

- シャトルバスを市で運行してくれ (各地域から)
- つながりポ ランティア

<p>伸ばすところ</p> <p>買い物しやすい</p> <p>買い物するの に便利</p> <p>公園施設が充実!</p> <p>みずの森公園が運動施設がある</p> <p>帰帆島の公園がすごくいい</p>	<p>変えたいところ</p> <p>道路整備</p> <p>住宅開発に見合う道路整備</p> <p>公共交通機関バス運行路線</p> <p>南草津駅～人工島の夕方交通渋滞の解消</p> <p>コミュニティ施設の新設</p> <p>河川整備</p> <p>道路</p> <p>交通</p> <p>コミュニティが希薄</p> <p>市・学区での交流も大事だが、地域の小さい交流のもちかた、見直しも必要</p> <p>市民病院が必要</p>	<p>進めたいこと</p> <p>防災</p> <p>避難所設備に関して</p> <p>下水道</p> <p>下水道の整備</p> <p>信号機</p> <p>信号機の設置</p>	<p>行政がやること</p> <p>歩道橋の整備 ↑ 通学路（横●）の信号時間が短い</p> <p>地域が出来て40年、下水道、水道管等の計画的整備</p> <p>南草津駅周辺にぎわい拠点らしさを…今は住宅優先</p> <p>避難所、施設を整備</p> <p>地域でできること</p>
---	--	---	--

5 玉川中学校区

1 実施概要

日 時	令和元年7月31日(水)午後7時～
場 所	草津市立玉川まちづくりセンター2階 大会議室
参 加	玉川中学校区 ○玉川学区 参加者：15名 ワークショップ：Aグループ、Bグループ、Cグループ ○南笠東学区 参加者：11名 ワークショップ：Dグループ、Eグループ
次 第	(1) 開会 (2) 草津市の総合計画について (3) ワークショップ (4) 閉会

2 議 事

(1) 開 会

- 課長あいさつ

(2) 草津市の総合計画について

- 資料に基づき説明

【質疑応答】

質問 基本計画とか基本構想についてレビューされているものはないのか。ここまでできました・できています、これは進捗が遅れていますとかレビューはされていないのですか。

回答 レビューという形でお答えできるかわからないですが、今現行の第5次総合計画・第3期基本計画につきましては、先程申しました通り、令和2年度末が計画期間となっておりますが、この第6次総合計画を策定するにあたりまして、第5次総合計画の総括が必要であると考えておりまして、今現在、まず庁内で、それぞれ22の分野毎に、それぞれの取組の実績・課題について総括、評価を実施中です。8月に市議会の方に報告させていただく予定です。それと合わせまして、第6次総合計画の前段の部分として、草津市の特性、地理的特性、

人口の見通し等を作成中で、先程申し上げました8月上旬の市議会の方にご報告させていただく段階です。

質問 今、説明いただきました1次から5次の話の中で、今日のワークショップですが漠然とここに、「伸ばすところ」「変えたいところ」「進めたいこと」皆さんわかるのかなという話でね、抽象的に、どこどこ・何をではなく、全体的な総合計画自体がなかなか御理解いただけないところが、沢山あると思うので、草津市が言葉は説明いただいたのですが、これについてどういう所を伸ばしていきたいか、どういう所を変えたいかというのは、学区のことで良いのか。市の方で、中学校区単位でやっていただいているのであるが、もう少しわかりにくい。何を聞きたいのかももうひとつわかりづらい。この学区が最初なのか、ほかの学区でやったのか。

回答 学区で申し上げますと、5学区目の順番となっております。全国的な状況で申し上げますと、これから出てくる問題といたしましては、人口減少・少子高齢化、大きな枠組みではそういった問題が出てくることは、もちろん、皆様御存じいただいていると思うのですが、草津市としても、いずれ、今現在は人口が増加している状況ではございますが、この第6次総合計画の期間内に、必ず人口減少・少子高齢化、どの自治体・どの県でも起こり得る問題が、草津市の中でも出てくる。そのような大きな枠組みで考えていただくと話が進みにくいということでしたら、地域別懇談会を開催させていただいている意味といたしまして、まず学区、それぞれの地域の中で課題、考えていただいている問題を切り口として、こういう所は改善していった方が良いのではないかと、こういう所はできているので伸ばしていけば良いのではないかとという切り口で、まず、お話し合い・御意見をいただければと思います。その中でこの部分は、第6次総合計画でもやっていけば良いのではないかなど、大きな流れでの御意見を頂ければと考えております。

(3) ワークショップ

○草津市の特性と課題、これからの取組の方向をつくり上げていくために、「伸ばすところ」、「変えたいところ」、「進めたいこと」、「行政がやること」、「地域でできること」についてグループごとに話し合う予定でしたが、地域が集まっているので、地域の課題やその解決の方向を話し合うべきとの意見があり、その方向で、「地域の課題」、「その解決の方向」を導き出していただきました。

①意見概要

グループ	概要
A	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を、大きくまとめました。駅前の渋滞がかなり慢性化している。それに対しては、南草津駅を中心に交通渋滞をどう解消すべきか。そこを検討する。方向を示すということでこのようにしています。また、駅前渋滞に絡んで道路交通。道路の質を高める。バスターミナル、道路幅あるいは幹線道路の整備、ロータリーの使い分け、駐車場の多層化などが挙げられました。自転車の問題として、自転車に乗る人のマナー、それと合わせて、学生を含めた治安の問題があるので、その対策をちゃんとやる。子育て健康として、福祉にも目を向けていく。文化は、遺跡等々文化保存に努める。コミュニティは、学生さん、高齢者も含めた、いろいろなむすびつき。高齢化対策も、高齢者と若者のコミュニティ、まちづくりとしては、もっと伸びる草津市を、広い視野で、隣4市を一丸に滋賀の顔として戦略を考える。このような方向を示させていただきました。 課題をいくつか出し合おうという中で、総括りをいくつかにさせていただいて、駅前の公共交通の話だとか、人が増えてくることによって治安が、学生さんの通学をどうするのか、高齢化対策、まちづくりでは、これから向こう10年の話ですから、湖南4を視野に入れて、どうあるべきか、滋賀県の第一人者の町であるというビジョンをもって戦略としてもらったかどうか。このような方向性でまとめました。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題は、Aグループの課題と似てくる部分は、確かにありました。駅前、防災・防犯、交通マナー、ほぼこのテーマで課題は占められました。 ・課題解決の方向性は、駅前について、どう開発していくかがすごく大事だということになりました。交通マナーであったり、交通渋滞、この辺も含めて、大学生・立命館大学との関係をどうしていくか、ということをお話し合いました。駅前の乗降者15,000人であったり20,000人の一日で動く人数を、どう誘導していくのがすごく大事。そのための施策として、道路の拡幅などがあるのですが、やはり西友を中心としたバスターミナル、そのバスターミナル自体も複合化した、小さい子が遊びに行っても遊べる、お年寄りが一人遊びに行っても遊べるような所、そのように複合化した誰でも使えるようなバスターミナルを一個仕立てて、交通の誘導をしていけば良いのではないかと。 私共の心がけとして、大学を誘致して、大学を造った・造らせたという事は、その人たちを大切にしようという心をまず置いて、それから方法を考えていかないと、学生の諸君も良い、私たちも良いという形を願っております。そういうことで施策を立てていただきたい。あともう一つ、草津の方は、今一生懸命開発して、駅前もいろいろなことをやっております。

	<p>立体にしたりいろいろやっています。それとはまた別の形で、やはり人口も多い、また車でも来る人も多い、バスも多い、自転車も多い、この南草津を、草津とは違う南草津という頭を切り替えて、市の方でも素晴らしい環境づくりは、違った草津と南草津は、やり方が違うと、僕はそう思います。新たにそういうことを考えながら、頭に入れながら、していただきたいなということをお願いしたいなと思います。</p>
<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題は、課題として挙げられるものを出しました。一番大きかったのは、交通の部分と、子ども、遊び、公園の部分と、若い世代・高齢者・外国人までのいろいろな、多様な方々がいらっしゃる事を前提としましょう。大学との連携、その他の問題等いろいろ出ています。あと、学生のマナー、大人のエゴ、人づくりを課題として挙げました。 ・課題解決の方向性は、この地域を、学園都市としよう。草津市全体ではなく地域として学園都市の機能を持つようにということ、大前提にしてはどうだろうか。その中で、交通の流れを考えると、大学生の通学の問題、駅から大学、その解決策としての新駅の設置等も検討してはどうか。また、先程出た人間・人づくり、子ども、教育も含めて、学園都市たる人づくり、地域特性を生かした人づくりをするのがテーマではないかということでもとめました。
<p>D</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題は、テーマとしては、安全・安心が大きいと感じました。特に通学路とか子どもたちが歩く道路が狭かったり、そこにパナソニック等いろいろな工場があり、通勤通学の時間帯には、自転車も多い。何千台単位の大学の学生の自転車が通っている。1時限目から3時限目まで滞りなく通っている。まめバスとかあるが利用しにくい。それが背景にあり、高齢化が進んでいる地域もあって、さらにかつ移動手段がなくなかなか難しい。買い物に行くにも近くにスーパーがない。医者に行くのもなかなか大変で大津の方まで行かなければならない。高齢者の方が、安全・安心のテーマからだとなかなか住みづらい地域になっている。その辺を改善するネタとしてどうして行ったら良いかを考えました。 ・課題解決の方向性は、安全・安心をどうするか、子どもたちの安全、道路の安全から行くと、地区内ゾーン30の指定。この辺の高齢化対策が上手くいくと今事故とか起こって問題になっている免許の返納が進むのではないか。それからもう一つ防犯カメラについて意見が出ていました。不審者情報や、空き巣の多い地域もあり、防犯カメラの整備を当然、市・行政も進めなければいけないし、地域としてもある程度投資をしてでも進めていこうという話が出ていました。全体として、安全・安心がテーマとして出てきました。個別には、もう少し歴史文化資産の掘り起こしとか、あるいは、全国的な問題かもしれませんが、火葬場の問題。これは、これからの高齢化に伴いどこも問題になっている。ほかにも細かなところがありますが、安全・安心で発表しました。

E

- ・地域の課題は、町内会での担い手の問題。あとへの引継ぎ、町内会でのサロン、そういったつながりの部分がでてきています。変えたい部分として、どこのグループでも出てきておりましたが、道、道幅、歩道・自転車の分離などの道・交通に関するところ。また別に、高齢化の問題。やはり、道・交通と高齢化の問題が今後つながってくるのではないかと。子ども・子育てをしている方の世代から言うと、仕事を持つ母親が多く子供会とかそういった事業をしていくのが難しい。こども食堂が欲しい等子育てに関する課題も出ています。駅に関すること、JRの新駅に関する要望というか進めたいこととしての意見が出ています。それから、防犯に関する防犯カメラの設置とか防犯・危機対応の意見も出ていました。
- ・課題解決の方向性は、地域性によって課題が違うと思います。南草津駅を中心とする住まいについては、若干捉え方がザクっととらえて中身を具体化すると、学生が沢山おられるからその所を省いてしまうと、非常に高齢化である。その所が現実であると思います。この高齢化に対して、医療でも若干とらえ方が、今度の総合計画でも、滋賀医科大学があるから、私たちの町には、個人病院がございません。今市が3計画を進めようとしておられますが、この3計画をしっかりと総合計画に組み込んでいただきたい。ただ単に、交付金の問題ではなく。1番目は、地域公共交通網形成計画これは非常に大切です。まめバスが走っていますが、今5路線しかございません。もともと9路線あったのですが、乗車率、有料の問題で一度に乗降客が無くなりました。これも福祉分野でやるのか、ほんとに市民の平地を走るバスであるのか、こういうところを明確にしていけないと、25%の乗降客が無ければ廃止していきますよというやり方ではない、本来の目的ではないと思います。公共交通となるとタクシーもその分野になりますね、オンデマンド含めて、だからここまで市もその考えに乗っていただけるのか、当然その地域性の中でその分野をしっかりと当てはめていただくと必要があると思います。それと一番大切なのは、草津市には、大きな皆様の税金、国からの交付金そうした税金の上手く分配、配分のあり方、やはり両駅あります、地域性有ります。そこでまちに偏った税がやはり大きく動いております。そうではなく、玉川にも、南笠東にも、あと残るところの12学区にも、それに準じた税金の配分をしていただく必要があるなと思います。草津駅にも公共の施設がある、当然、南草津駅にも同等に同じ公共施設を造っていくべき。アーバンデザインセンターもありますが、保育関係の分野もありますが、そうではなく全ての分野で両駅を構える中においては、当然同等の施設、もう一つ施設で大事なものは、今草津に146くらいの施設がありますが、多くの施設が築30年を超えています。これの対応に本当に大変なお金がかかります。今、まちづくりセンターの建て替えを進めておられますが、全てのそのようなものに税の投入がどんどん発生してくる。我々の生活の中にそういうものが本当に順当に来るのか

	たとえば非常に難しさもあるし、高齢化も進んでくる、税の適正な配分、これを1番やりたいと思いますので、第6次総合計画には、このところに沿った基本、計画、手段を当てはめていただければ非常にありがたい。
--	--

②参加者感想

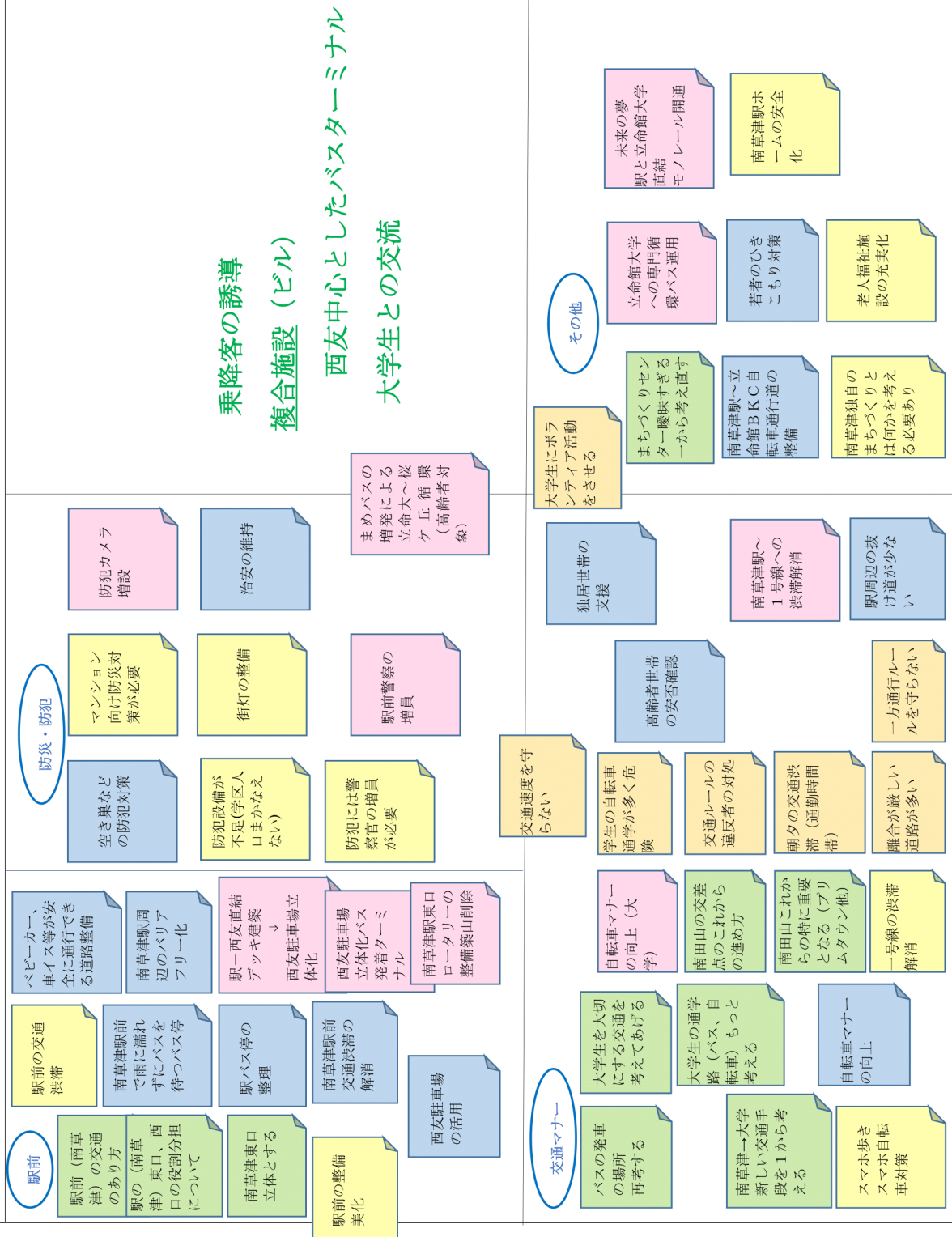
- 進行の段取りをもっと考えて。最後の発表は自主性を持って参加者がすべき。
- 各学区ごとの課題が出た。この解決策についての協議をお願いしたい。
- 課題が絞れて意見が出しやすくなり、良い懇談会になったと思う。
- 本日の課題抽出は第6次総合計画に少しでも吸収されるところがあれば有り難い。これが地域の声。会議の前に不要な発言をしたが、今後ともよろしくをお願いしたい。
- 市民の声を実現するように。
- 提案に対して実現を望む。
- 課題を如何に解決、実行を!
- 新しい取組、なかなか良かった。
- 市が把握している今後の課題について説明してほしかった。今回の活動がどう活かされたかフィードバックをしっかりとしてほしい。
- 事前の根回しが不十分で、準備不足にて意見が充分出せたと言いがたい。
- まちづくりへの取組の第一歩。
- 夢のある都市づくりに考え参考になった。
- ワークショップは良かったと思うが、テーマを絞った方がより良くなったと思う。
- 初めは皆さんが意見を集約されていると知り、事前にワークショップの考え方が示されるべき。
- 協議のポイントの整理がスムーズな進行につながる。
- 課題が多数あるが、少しでも解決できるよう官民合わせて協力して行ければと思う。
- 今日は少しだけの時間と意見だったと思う。何度かこのような機会があるともっと意見を出せたと思う。
- 書いてあることを真摯にご検討いただきたい。
- 10年間という長いスパンの問題を論じるには無理があるのでは?
- 個々の思いや意見が出て、次回の計画に反映させていただきたいと願う。
- テーマ設定がはっきりしていなかったが、意見の中で課題の抽出できた点は良かった。
- 会議の課題を年代毎に組み入れてほしい。同年代だと考えが片寄る。
- ワークショップで出た数々の課題・意見をどのように反映しているのか「見える化」してフィードバックしていただきたい。
- 事前に準備のための資料をいただければ、もう少し深い話になったと思う。

③まとめ

- 地域の課題として、道路交通、交通マナー、駅前の渋滞、治安の悪化、空き家の増加が挙げられており、特に玉川学区では、駅前の渋滞が挙げられています。また、子育ての課題としては、玉川学区では、待機児童。南笠東学区では、小学校児童数の減少が挙げられています。
- 課題解決の方向性として、新駅の設置、草津・南草津両駅に同等の施設の設置などが挙げられ、玉川学区からは、学区を学園都市として考えて、課題を解決してこうという方向性も挙げられました。

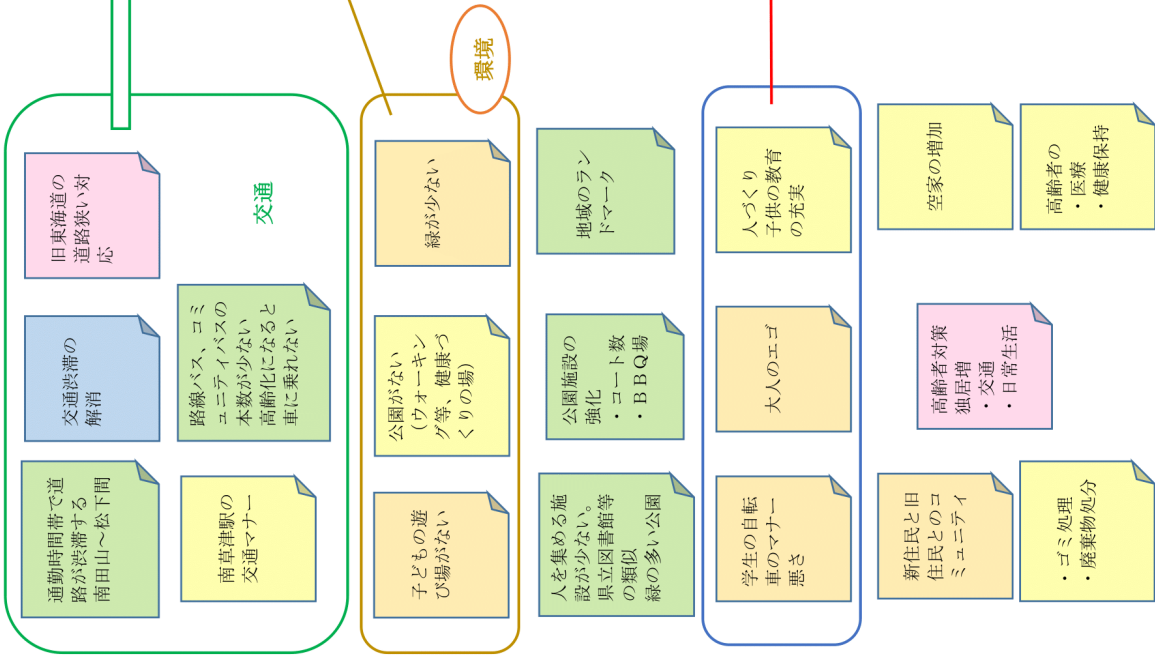
課題解決の方向性

地域の課題

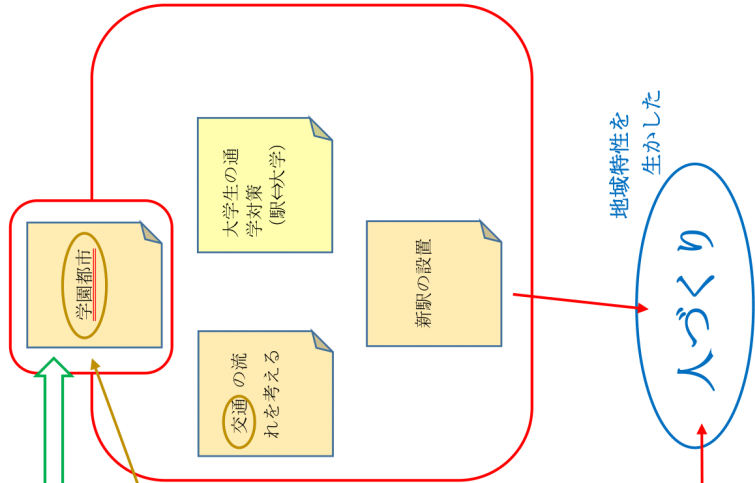


地域の課題

- 若い世代の地域参加
- 高齢者の活躍
- 人口が増えている。増えてくる対応
- 外国人の増加（コミユニティ）
- 立命館大学と地域が連携
- 南草津駅がで、新快速が止まり、さらに発展する場に対策も
- 安全面、防犯面、ポリボックス増
- 循環型社会への取組

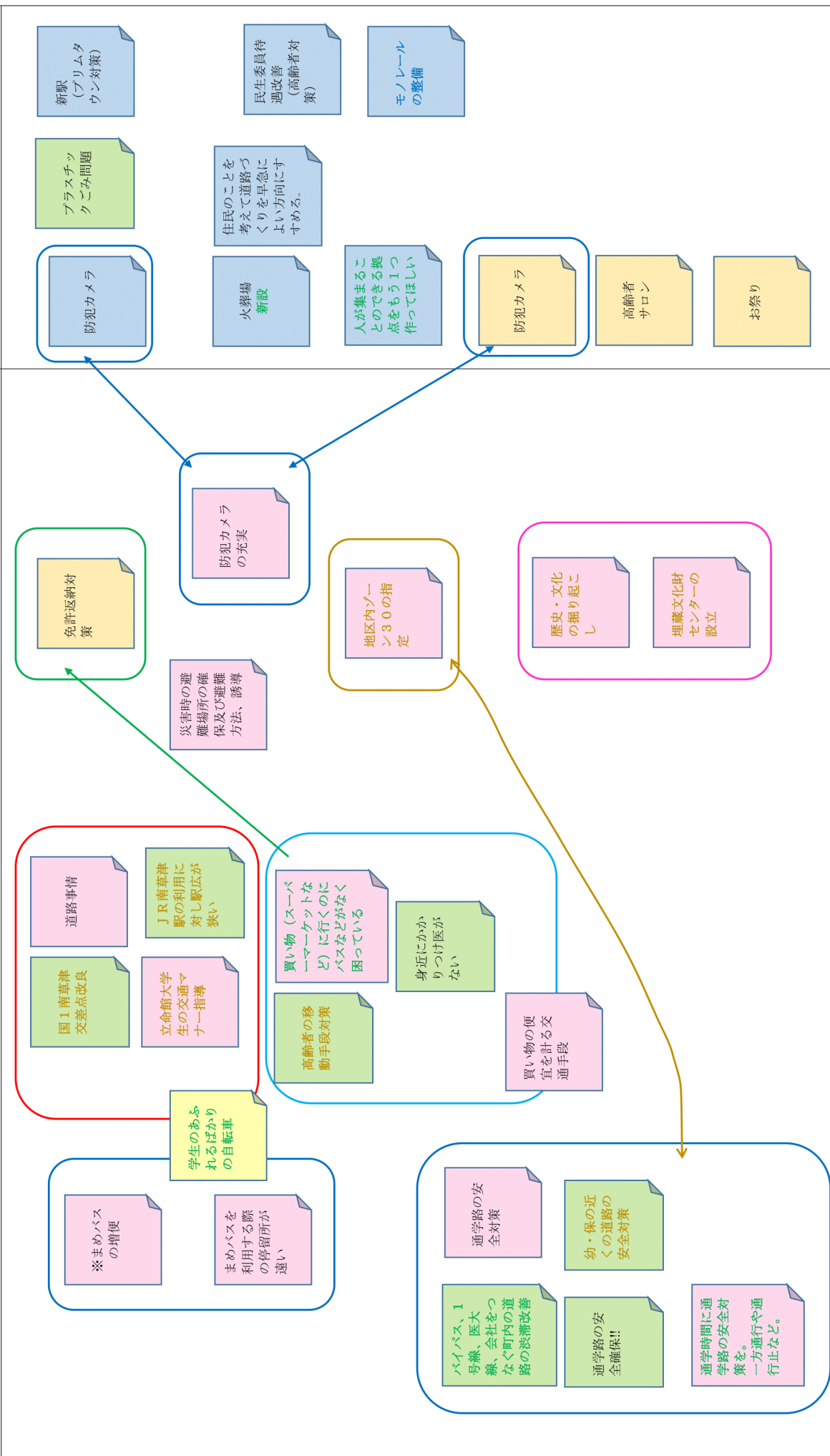


課題解決の方向性

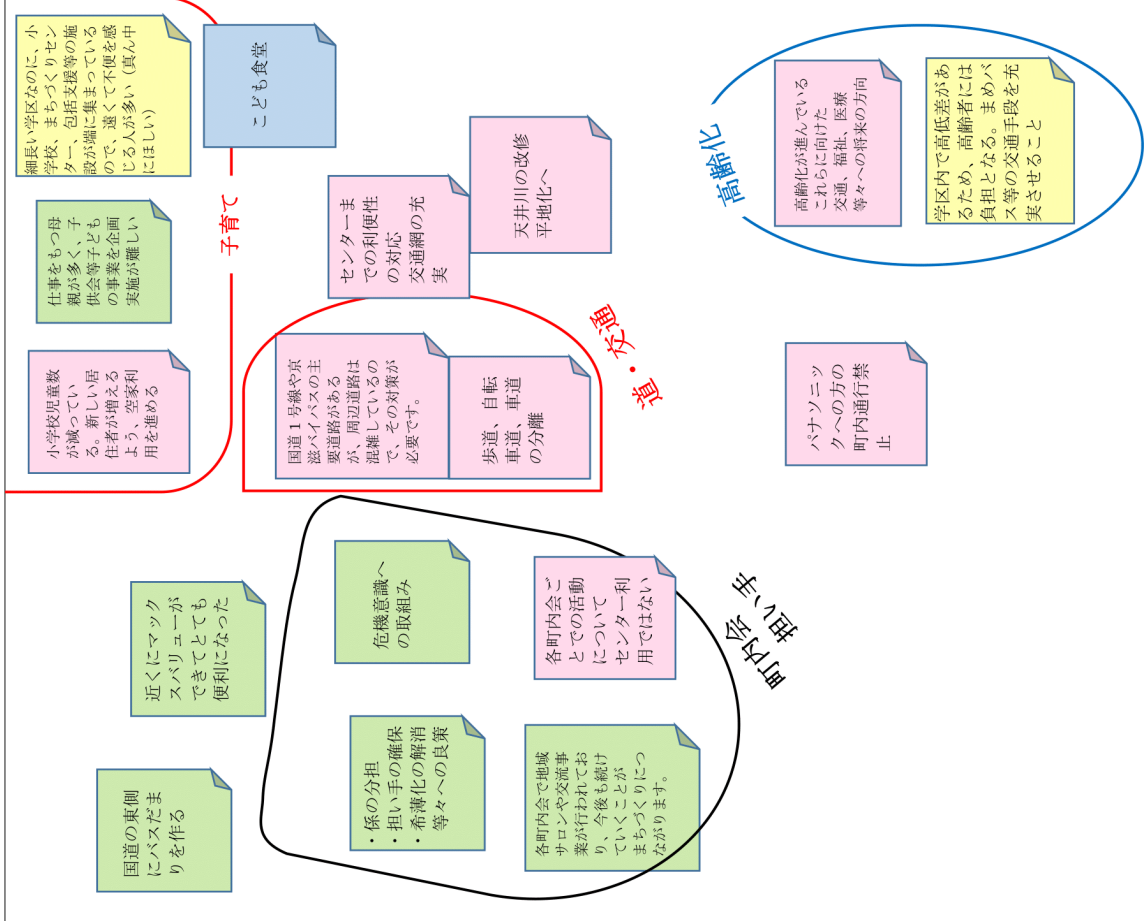


課題解決の方向性

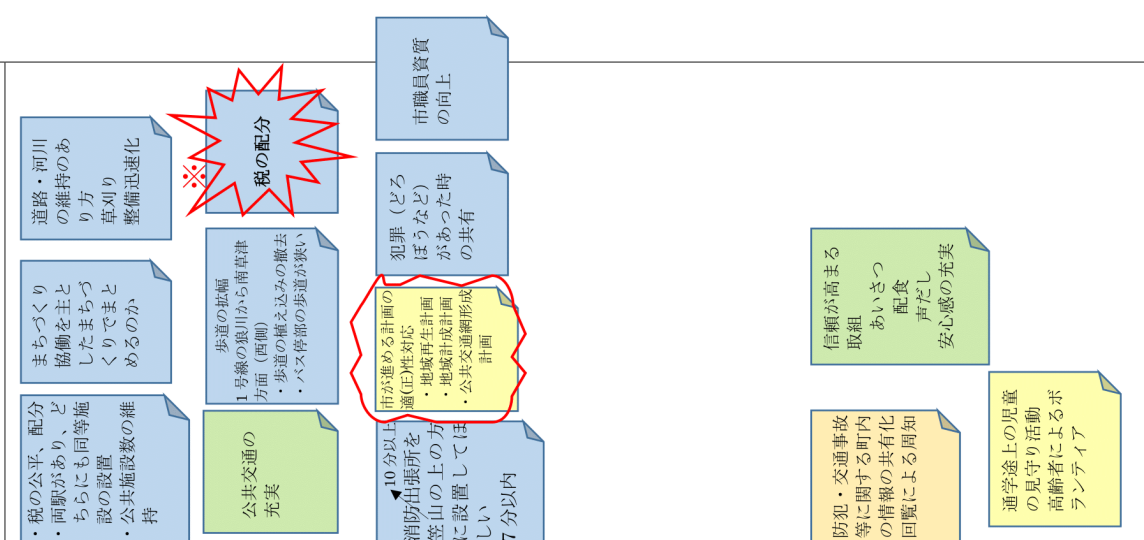
地域の課題



地域の課題



課題解決の方向性



6 高穂中学校校区

1 実施概要

日 時	令和元年8月3日(土)午前10時～
場 所	草津市立教育研究所 研修室
参 加	高穂中学校校区 ○志津学区 参加者：8名 ワークショップ：Aグループ、Bグループ ○志津南学区 参加者：5名 ワークショップ：Cグループ、Dグループ ○矢倉学区 参加者：8名 ワークショップ：Eグループ、Fグループ
次 第	(1) 開会 (2) 草津市の総合計画について (3) ワークショップ (4) 閉会

2 議 事

(1) 開 会

- 課長あいさつ

(2) 草津市の総合計画について

- 資料に基づき説明

【質疑応答】

質問、御意見等はありませんでした。

(3) ワークショップ

- 草津市の特性と課題、これからの取組の方向をつくり上げていくために、「伸ばすところ」、「変えたいところ」、「進めたいこと」、「行政がやること」、「地域でできること」についてグループごとに話し合い、導き出していただきました。

①意見概要

グループ	概要
A + B	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、自然・歴史。向こう三軒のような地域住民の交流。防犯に関しても地域として頑張っている。 ・変えたいところは、草津市全般として、YMITアリーナが、スポーツだけになっていて、音楽やコンベンションができて、もっと収益性が上がったり、市民のためのホールに転換できないか。まち協に関して、事業屋になってしまっているのではないか、本来プラットホームであるべきなので、やっている人が疲弊するのではないか。公共設備に関しては、まちセンターの建設遅れ、運動公園の話はどこに行ったのかという状態なのでその整備を進めていただきたい。主要幹線が通っていることで、道路の整備に関しては、ずっとお願いし続けていることですが、子どもたちが増え、高齢者が通る中で、安全・安心な暮らしのまちづくりのためには、交通整備は欠かせないことでこれを進めたい。住民交流があり中でも、新しい住民が来られる中で、新旧の住民の関わりに、隔たりがあるのではないか、交流を進めていかなければならない。道路と共に、河川の整備は、地域ではなかなか難しいところ、こちらの方も引き続き進めていただきたい。いきなりいろいろな誘致が進む中で、まちが変化していく、誘致に関しても地域を巻き込んだ検討をお願いしたい。 ・進めたいことは、先程のYMITアリーナ、公共設備や民間業者、飲食関連を含めてコンベンションホールのような形にすることで収益性が上がって、市民に負担が来ない様な設備になるのではないか。大胆な意見としては、クリアホールを県に返して金をもらえないか。まちづくりに参画して良かったといえるまち協づくりをしたい、そのためには自分たちの考えを活かして進めていきたい。自然がある中で、この自然を生かしながら子どもたちの公園であるとか、高齢者とか、子どもたちが交流できるようなスペースも進めていかなければならない。高齢者の見守りや子どもたちの見守り、安全・安心で暮らしていけるまちづくりが、まちづくり計画の頭にあることですし、そのことをこれからも進めていきたい。 ・行政のやることは、行政がやることが多いのは、地域でできることはやっているからで、道路整備、河川の整備を、自然を生かしながら安全・安心を、子どもたちの通学の状況とかを見てほしい。あれを見て、何が安全・安心なのかを考えてほしい。約束した施設は作ってほしい。必要だからお願いしている。皆できると思っています。住民主体のまち協の改革を行政と共にしていかなければいけない。地域まちづくり計画、ただ事をこなすのではなく、未来につながるような住民主体のまち協の改革が必要ではないか。地域で福祉活動を進める中で、助成を進めていただかないと、なかなか思うような活動ができない。巡回投票所があるとちょっと投票率が上が

	<p>るのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でできることは、地域住民の声を聴きながら進めていかなければいけませんし、そういうことで、地域のイベントもやるべき・残すべきこと、整理すべきことを見ていかなければいけない。増えている高齢者や子ども達の居場所づくりを考えていかなければいけない。マンモス校になる中で、通学路がかなり遠かったりするので、地域でできることがあれば検討したいですし、行政にも検討いただきたい。
<p>C + D</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、地域自治、草津市は、他市に比べ交付金等支援が3倍位ある。これを落とさないように、税収が減っても落とさないように。環境文化、滋賀県はPR不足。草津も琵琶湖があり、草津川跡地公園もあり、イベントも行わっているが、我々は草津川跡地公園が相当遠いので、イベントに関心ない。草津市民が基本的に魅力のあるイベント、そういったものを草津市として盛り上げていきたい。草津市の住民がそこに行かないと、他県までも広がらない。この辺も魅力あるものにしていかなければ。ボランティア活動が充実しているが、高齢化しており今後どうするのか。環境として、月に3～4回草刈、掃除を行っています。市の職員の教育が依然と比べ大変良くなったので進めてほしい。 ・変えたいところは、交通問題。かがやき通り、朝晩の渋滞、空いていれば5分が、40分かかかる。山手幹線早く開通してほしいが、開通するともっとかかる。5、60分かかかるのではないか。交通量も、今だいたい1日5,000台が5倍の25,000台トラックを中心に、旧1号線に抜ける道が無い。この辺については、市だけではできないと思いますが、県・国も含め検討いただかないと大変なことになる。草津は、急激に人口が増えているので、交通網・道路の整備が必要。文化についても、草津は、群馬県の温泉といわれるので、このPRをもっとやらなければいけない。行政と住民参加。1つは、市の各部署の連携が取れていない。町内会長のところには、いろいろな資料がくる、連携取っても良いのにといい資料がいっぱい来るので、町内会長大変だなという状態になる。市が連携しながら、特にまちづくり協働部が精査しながらやれば、もっと負担も減るのではないか。 ・進めたいことは、1つは、空き家の対策。空き家がどんどん増えている。そのメンテ等をボランティアの方が、お持ちの方と連絡をとり合いながら、庭の剪定等をしているが、そのままではいけないので、市の空き家対策として考えていかなければいけない。もう1つは渋滞。特に通学路、追分地区から志津南小に600人が一斉に来る。市長にも見ていただいて、対策を検討いただいております。事故の起こらないうちにぜひ検討していただきたい。更にもう一つは、新しいマンション住民の方の参加。セキュリティが掛かっていてなかなか（案内を）徹底し難い。もっと良い方法がないか。いろいろなイベントへ参加いただきながら一緒にやりたい。 ・行政のやることは、交通網の充実。市の縦割り組織見直し、まとめること

	<p>ろは一緒にまとめていただいといるところ。地縁に頼る事業、例えは青少年、従来から何十年も変わっていない、その辺をまとめながら、今に合った事業を市も考えながらやってほしい。それと当然ながら空き家対策。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でできることは、防災。これは地域できちんとやっていかなければいけない。10月に学区全体の防災フェス、第1回目をやろうと思っています。まず参加してもらうことが重要。どちらかと言うと防災については、安全というよりも皆さん意識感覚がないので、防災については、きちんと意識を持ってもらうということで、今までできていなかったが、今年から防災のフェスを。楽しくないと来てくれないので、ある程度イベントも入れながら楽しくして、来ていただいて、防災意識を植え付けていく。高齢化による役員の見直し、役員のなり手がいない。新しい町内会は順番でやっておられますが、役やるなら、町内会辞めさせてという所も結構ある。この辺の見直しも地域としてはやっていかなければいけない。環境整備。これは、ボランティア中心にやっていこう。
E	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなテーマとして、ハード面の話がある中で、実際ソフト面はどうかということに進んでいきました。ハード面は、日頃の日常生活の便利さやいろいろな施設、草津市は、祭とか住んでいく中で非常に充実している、暮らしやすい、いろいろなものがある。一方で高齢化が進んでいる、若い人たちも入っているが、一人暮らしの世帯も増えているし高齢化も増えてきている。基本的には、暮らしやすい、災害が少ない一方で、ソフト面でどうかということ、自治会に入ってくれない、若い人たちとの交流、マンションの方との交流が少ないという話が出る中で、これは、10年後、20年後の草津市を見据えた話なのかなと思われる、孤独死の問題が出てきました。一人暮らしの方の孤独死に対して、個人情報関係や、プライバシーの関係が壁になって、助けたいのも助けられないケースや、今後どんどん増えていった時の対応どうするのかという話になっていきました。高齢者の増える一方で、見守りとかそういった話になりました。もう1つは、高齢者の方が増えていく、施設も便利でたくさんある、でも自分で車を運転できなくなる、行けているうちは良いが行けなくなったり近くにあっていけない、行けるのならば便利という話になっていきました。 ・進めたいことは、当然、一人暮らしが増えていく中での見守りもあるが、もう少し気軽に身近なところで、施設とかいろいろなところで、ふれあいホールとか近くにあると言いながら、なかなか身近なところで健康づくりとかできる場がないので整備していく必要があるのではないかな。もう一つは、担い手の方。固定化していて、次の世代にバトンタッチする人がいない。 ・行政のやることは、大きな1つのテーマとして、一人暮らしの人たちへの対策を個々にニーズがあるのでしっかりやってほしい。 ・地域でできることは、一人暮らし。見守りをやっていかないといけない。

	<p>この辺は、協働で連携してやっていかなければいけない。孤独死の中で大きな問題は、プライバシーの問題、個人情報になるので、行政としては、例外的対応、法律とか制限のある中で、なかなか突っ込んでいけないところを、何とかこの辺のルール作り・仕組みづくりを、今後、10年、20年を見据えたらやっていかなければいけないのではないかな。空き家対策。持ち主の方がいらっしゃるので、なかなか手出しができないので、行政としてしっかりやっていかないといけないのではないかな。一人暮らしの見守りということで、孤独死がこのグループで大きく出ていましたので、孤独死を防ぐために、プライバシーの例外的な対応を十分してもらったら、突っ込んでいける。</p>
F	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、人口が増えているとか、若い人が多いとか活気あるまちづくりが草津市ではできている。さらに、まちづくりに関心のある人が多い。安全・安心面では、病院・医療機関が多い。地域性で、災害に強い、危ないところが少ない。身近な自然を残していく。東海道・中山道を活かしたまちづくり、自然文化を伸ばしていけば良いのではないかな。 ・変えたいところは、道路。1号線の片側1車線、渋滞が慢性的に発生している。信号の待ち時間等渋滞の問題。まめバスのルート、本数、公共のバスが減ってしまった等の公共交通機関に関する問題。高齢者の移動手段が無くなってきている。地域開発については、どんどん開発が進んでいるところがあって、特に下流の雨水対策ができていないところに開発が進む。身近な問題としては、志津小・高穂中のマンモス化。安全・安心の裏返しとして、危機管理の意識が薄い。外国人が増え暮らしをどういう風につながるのか。 ・進めたいことは、道路行政という括りでは、山手幹線を一日でも早く開通してもらえれば、市街地の渋滞が解消するだろう。利用しやすいまめバスのルート・本数増やす。小中学校の長期的な設置方針を決めていく。宿場の町を活かしたまちづくりとPR。地域福祉としては、高齢者のイベント、老人の憩いの場など福祉を充実していく。地域・町内会の一体化、地域のリーダー・ボランティアを育てていく等のまちづくり。防災の訓練、災害を想定した話し合い等の防災対策。 ・行政のやることは、道路。公共交通。都市開発、開発方針をどうするか。地域福祉。 ・地域でできることは、高齢者の居場所づくり、地域福祉。まちづくり。防災。

②参加者感想

- 普段、身近な事を考えがちだが、もう少し視野を広げて考えていかないと実感した。
- こういう機会をもっとすべきと思う!!
- センター新築、運動公園整備、草津川上流の利用、早期に!
- 有意義なワークショップであったと思うので、後は行政側に充分反映してもらいたい。
- 今日の意見を一つ一つ行政は実行してほしい。地域住民の声をもっと聞く機会を増やしてほしい。
- 今日の話合いの一日も早い実現をお願いしたい。
- ワークショップの話題を市が地域にしっかり説明してほしい。場所によって捉え方がまちまちだった。
- 実現困難な意見が多かったが、安心なまちづくりを目指したい。
- 他学区も交通問題が課題。解決策をよろしく。
- 多数の意見、いろんな角度からの視点、勉強になった。
- 他の人の考え方がわかって参考になった。行政にお願いした内容は必ず計画に入れてほしい。
- 視点、切り口が地域から見た市全体という所での提言に欠けた。
- いろんな話が思ったまま言えて有意義だった。
- 今回のワークショップの結果をまとめてほしい。それぞれの中学校区の結果もまとめて残してほしい。
- 自分の思っていたことが言えた。
- 話合いの結果を生かしてほしい。
- 地域の悩みが理解できる、良いワークショップだった。
- 初めて参加させてもらった。良い意見が多いので、是非、実現の程。
- いろいろ大変勉強になった。ありがとうございました。
- とても参考になった。

③まとめ

- 伸ばすところとして、まちに活気があり、学校・病院・駅が近く便利で、豊かな自然・古い歴史があり、災害も少ないことが挙げられています。
- 変えたいところとして、交通整備。道路の拡幅や、安全対策、交通手段の確保が挙げられています。それに加え、志津学区では、公共施設の整備やその活用、まち協のあり方について、志津南学区では、草津文化のPRについて、矢倉学区では、小中学校のマンモス化が挙げられました。
- 進めたいことは、新しい住民や若い世代の地域活動への参加、抜本的な交通対策、移動手段も含めた、住民の望む施設づくり。子ども、高齢者、ひとり暮らしの人たちの見守りが挙げられています。それに加え各学区変えたいところに挙げた項目が挙げられています。

○行政がやることは、運動公園は早く整備、市民の希望する声を聴いて早期に実現をしてほしいということ、志津の自然の保守整備、住民主体のまち協の改革（制度づくり）、金勝川、新草津川上流の平地化と利用を早期に進める、区間6の早期整備、中・小河川の保守、通学路の交通安全・防犯対策整備、道路整備などが挙がっていました。

その他としては、ひとり暮らしの人たちへの対策、プライバシーの例外的対応のルールづくり、各住民の声を町内会長を経由せず、直接声をきいてもらう機会、各地域にあった地域別総合計画の策定、空き家対策、交通網の充実、縦割り組織の見直しとともに地域でやることの精査、地域を活発にするためにも人材育成、地域福祉、地縁に頼る事業大幅縮小、都市開発、道路・公共交通、防災拡声器の改善などが挙がっていました。

○地域でできることは、住民の声をきき、まとめて、地域福祉活動、ひとり暮らしの人たちの見守りなどを行う。地域のイベントを行うなどが挙がっていました。

伸ばすところ

緑(自然)を残しつつ、開発の促進
 豊かな自然を守り育てるまち
 田草津川跡地の利活用の拡大
 自然歴史
 古い歴史
 田畑等残してほしい自然の育成
 自然の美しさを保つ

世代間の交流
 人が安心して住み続けられるまち
 子どもを守り活動
 地域住民の人の良さ
 まだ残っている向こう3軒両隣の風習

住民交流

子供高齢者サロンの増加
 防犯対策

サロン 防犯

交通アクセスの充実
 公共交通の拡充
 市営バスの運営(高齢者対策)
 交通の確保

アクセス

変えたいところ

YMITアリーナ
 スポーツだけでなく、音楽イベントができるものへ
 1000人程度の音楽堂の設立(くさつホール)
 YMITアリーナ
 まち協のあり方
 役員への女性活動(増員)
 働き方改革(役員)
 地域活動にかかわる世代
 志津運動公園の建設
 県庁所在地の変更 大津→草津
 志津まちづくりセンターの早期政策
 公園の整備

公共施設の整備

道路整備
 道路の整備
 道路の整備
 交通安全
 通学路
 子どもの安全
 主となる道路が少ない
 新道の隔たり
 河川
 金勝川、新草津川上流の河川汚染
 河川・水路を含めた排水路の改修
 商業施設の誘致場所の検討
 選挙の投票率UP

誘致

進めたいこと

音響設備・民間業者・飲食関連を含めてコンベンションホール化へすすめる
 クレアホールを県に返還
 音響のしつかりしたホール市民が使える施設の建設
 市民が望むホールをつくる
 まち協と町内会
 仲良くするか
 別団体になるのか
 まち協
 プラットホーム化
 まち協の急増
 新田仲良く交流する
 子供の見守り
 子供の急増
 新田仲良く交流する
 天井川の平地化を早く
 自然(緑)の維持管理
 手間をかける
 児童公園の充実
 団地内公園
 まとめて公園大きく
 新しい市民会館の整備
 学校、幼稚施設と高齢者施設との一体開発

自然を生かす地域のため

交通整備

志津の人口はこれからは増加の一途をたどる
 ・子供の世代
 ・成年、働き世代
 ・高齢者世代
 を分けて対策を考へよう
 志津の人口はこれからは増加の一途をたどる
 ・子供の世代
 ・成年、働き世代
 ・高齢者世代
 を分けて対策を考へよう

子どもも高齢者も安心して暮らせる見守り交流

町内会の戸数の平準化
 表記の整備
 ○丁目
 投票した人の減税やボイメントの付与
 市民への還元

行政がやること

志津の自然の保守整備
 道路整備
 金勝川、新草津川上流の平地化、利用を早期に進める
 中・小、河川の保守
 通学路の交通安全、防犯対策整備
 区間6の早期整備
 道路河川整備

約束の公共施設を実現してほしい
 市民の希望する声を聴いて早い実現を
 運動公園は早く建設
 志津の約束の施設早い実現

各町域にあった地域別総合計画の策定
 全市では漠然とする
 住民主体のまち協の改革(制度づくり)
 住民主体のまち協の改革

地域でできること

各町内の意見を求める
 住民の声をきき！
 まとめる！
 各町内の意見を求める
 住民の声をきき！
 まとめる！

福祉活動 助成

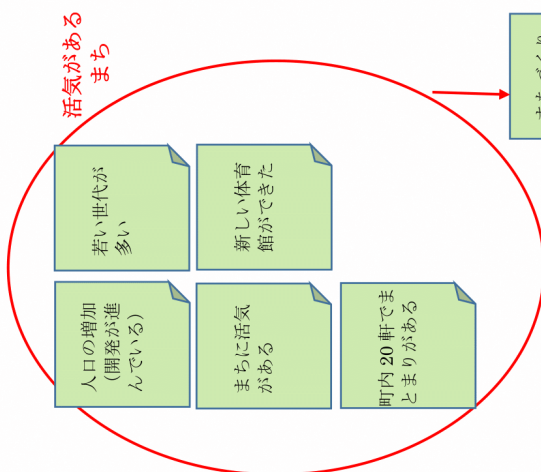
地域を活動にするために人材育成
 地域でやることが多すぎる
 各町内の意見を求める
 住民の声をきき！
 まとめる！
 巡回投票所
 巡回投票所
 ・各町のふれあい祭
 ・各町の運動会
 ・高齢者の居場所づくり
 地域のイベント
 高齢者の居場所づくり

(A)(B)

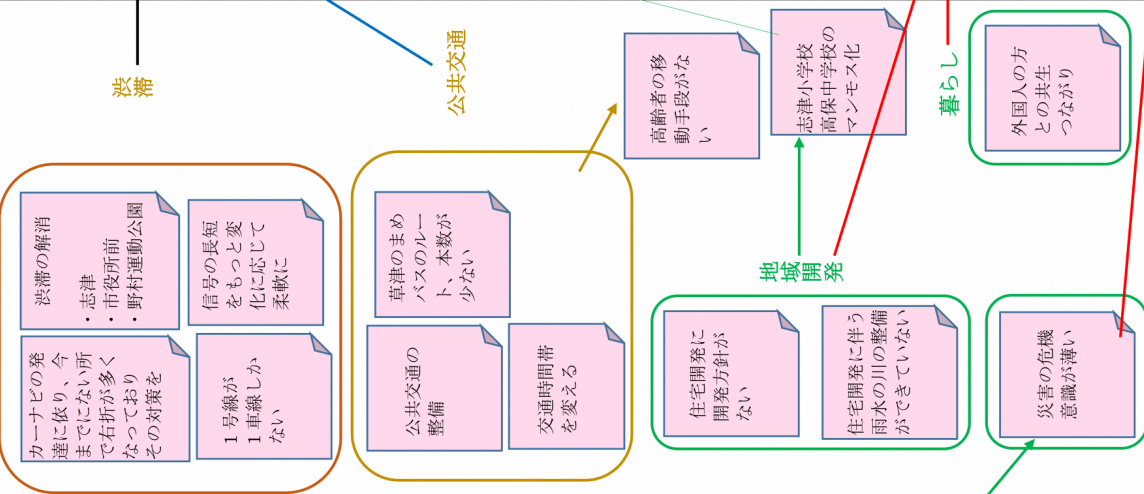
<h3>伸ばすところ</h3> <div data-bbox="268 1933 871 2096"> <p>地域自治</p> <ul style="list-style-type: none"> 学区・地域の自主性を重視している所 まち協の自主的経営 地方に比べ地域に対する助成が充実している。今後も拡大を! </div> <div data-bbox="268 1686 871 1850"> <p>環境文化</p> <ul style="list-style-type: none"> 琵琶湖の水辺、草津川跡地の環境を維持し、緑を増やしながら、子供達が集まれる場所に 宿場・木陣をより人が集まれる様に ミナクサまつりをより拡大して住民の参加意欲をのばす </div>	<h3>変えたいところ</h3> <div data-bbox="268 1451 871 1615"> <p>交通</p> <ul style="list-style-type: none"> 北一面の幹線道路の拡幅 交通渋滞の解消、山手幹線の安全対策 交通網の整備・見直し 交通網の充実、人口増加おいていない 自転車通行ルールの強化 </div> <div data-bbox="268 1144 871 1339"> <p>空き家</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家の管理ルールの見直し </div> <div data-bbox="268 1144 871 1339"> <p>文化PR</p> <ul style="list-style-type: none"> 草津文化の強化(温泉のまちでない) 草津川のイベント活性化(春しかかない) イベントが少なく(宿場まつりしかない) </div> <div data-bbox="906 1122 1449 1626"> <p>行政と住民参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の部署の連携強化が必要 町内会への入会のルール化、未入会は加税する 自治体・町内会の負担が多い 市と町の関係性を高める 地域の役員不足、解消のアドバイス </div>	<h3>進めたいこと</h3> <ul style="list-style-type: none"> 空き家対策 抜本的な交通渋滞対策を進める 新しい方に(マンション住民など)住民参加してもらおう 	<h3>行政がやること</h3> <ul style="list-style-type: none"> 交通網の充実 縦割りの組織の見直し、合併 地縁に頼る事業大幅縮小 空き家対策
			<h3>地域でできること</h3> <ul style="list-style-type: none"> 防災自衛消防隊の設立 役員の見直し 環境整備ボランティア活動

<h3>伸ばすところ</h3> <ul style="list-style-type: none"> 学校、病院がいろいろあって 便利 駅が近い 新快速止まる 災害が少ない 県内だと税負担が低い 人がやさしい ロクハム公園の利用推進 出会い広場の利用促進 ふれあいホールが近くにある 	<h3>変えたいところ</h3> <ul style="list-style-type: none"> 自治会に入ってくれない マンション一般住民との交流が少ない 孤独死の防止の緊急対応 個人情報情報の壁 ふれあいホールが使いにくい 南草津駅前道路整備 (混雑の為) バス、タクシー利用しづらい 値段高い 高齢者の移動手段がない まめバスの復活 小学校運動場芝生を植える 体育館にエアコンの設備を設けてほしい 	<h3>進めたいこと</h3> <ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らしの人たちへの対策 ひとり暮らしの人たちの見守り 高齢者が喜んでもらえる環境づくり 気軽に利用できる健康づくりの場を作る グラウンドゴルフ場の整備 各施設への移動手段 若い世代の地域活動への参加 担い役が不足 	<h3>行政がやること</h3> <ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らしの人たちへの対策 防災拡声器の改善 プライバシーの例外的ルールづくり 空家対策 	<h3>地域でできること</h3> <ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らしの人たちの見守り 孤独死を防ぐための緊急対応
--	---	--	---	---

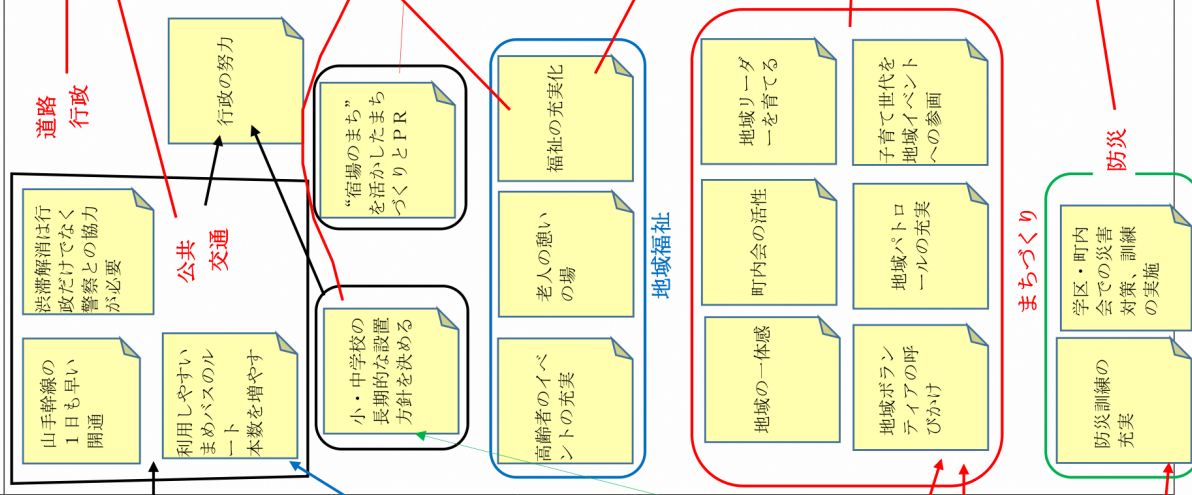
伸ばすところ



変えたいところ



進めたいこと



行政がやること

地域のできること